

関係者等アンケート調査結果 報告書

令和 4 年 3 月 こども福祉課

目次

1	第1章 調査の概要	2
2	第2章 調査結果 関係者等アンケート	3～61
	問1～問5	3～8
	問6	9～35
	問7	36～61
3	第3章 調査結果 PTA会長用	62～70

第1章 調査の概要

1 調査の目的

子どもと接する機会の多い児童福祉関係施設の職員等が、子どもの健やかな育ちや子どもの権利に対してどのような認識を持っているのか、現状を把握し、今後の条例制定に向けた基礎資料とする。また、調査の機会を通して、条例の内容について関係機関等の職員の理解を深める場とすることで、条例制定後に、すべての子どもたちの声や願いが届き、自分らしく過ごすことのできるまちづくり施策に繋がるよう、周知啓発の機会とする。

2 調査対象及び回答状況

(1) 調査対象及び回答率：

対象分類（第2章）	配付枚数	回答数	回答率
保育所・幼稚園・認定こども園等	365	165	45.2%
児童クラブ	203	175	86.2%
小学校・中学校	117	74	63.2%
児童発達支援・放課後等デイサービス	253	104	41.1%
主任児童委員	100	79	79.0%
未回答	—	2	—
合計	1,038カ所	599	57.7%

※調査結果は第2章に掲載

対象分類	配付枚数	回答数	回答率
PTA会長	117	57	48.7%

※調査結果は第3章に掲載

(2) 調査方法：電子申請システム（システムを利用できない職場等については紙による回答）

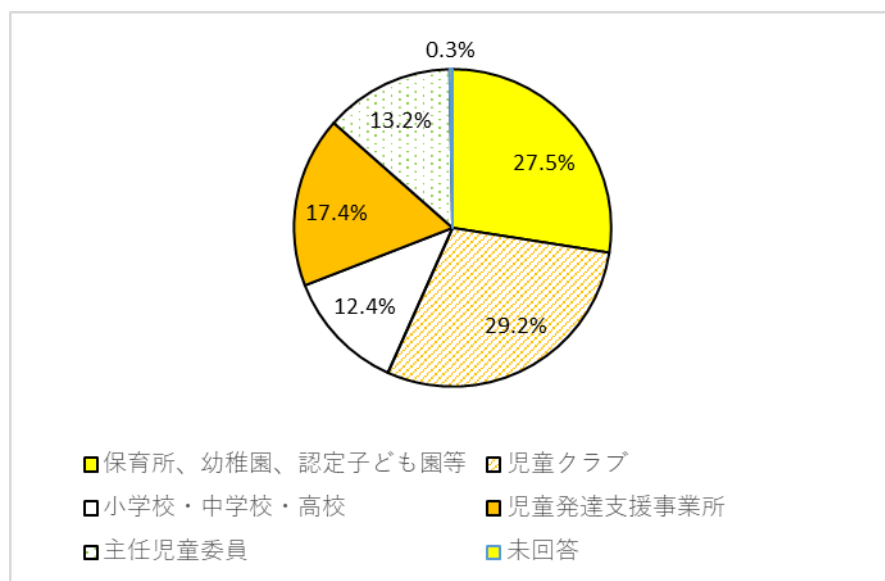
(3) 調査時期：令和3年11月8日（月）～令和3年11月30日（火）

3 報告書利用上の注意

・百分率（%）は小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示している。また、四捨五入している関係で、合計が100%にならない場合がある。

第2章 調査結果

問1 所属についてお尋ねします。

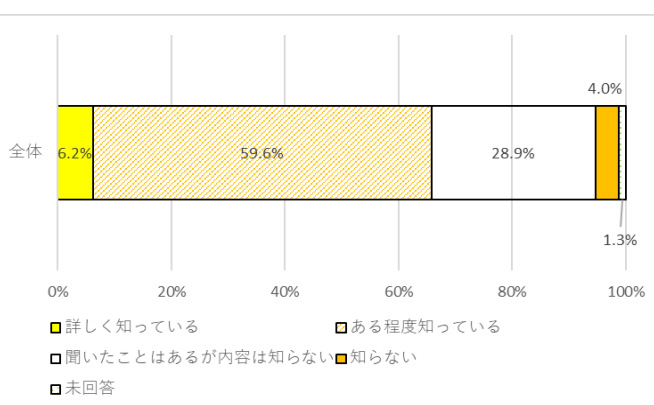


区分	人数	割合	対象件数	回答率
保育所、幼稚園、認定子ども園等	165	27.5%	365	45.2%
児童クラブ	175	29.2%	203	86.2%
小学校・中学校・高校	74	12.4%	117	63.2%
児童発達支援事業所	104	17.4%	253	41.1%
主任児童委員	79	13.2%	100	79.0%
未回答	2	0.3%	—	—
合計	599	100.0%	1,038	57.7%

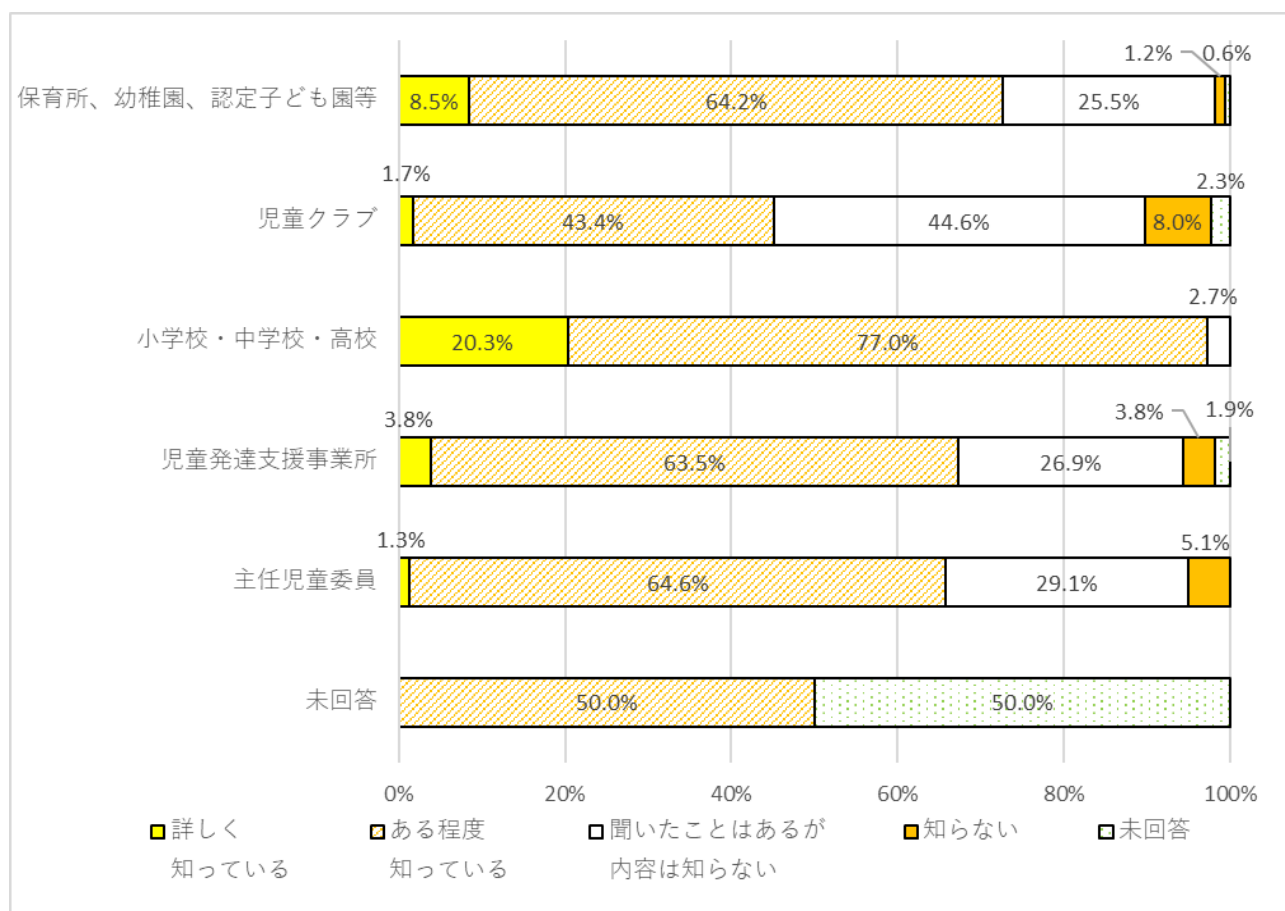
問2 「子ども（児童）の権利に関する条約」（子どもの基本的人権を国際的に保障するために定められた条約です。1989年に国際連合で採択、日本は1994年に批准）を知っていますか。

全体では、「ある程度知っている」が59.6%と最も高くなっています。

区分	人数	割合
詳しく知っている	37	6.2%
ある程度知っている	357	59.6%
聞いたことはあるが内容は知らない	173	28.9%
知らない	24	4.0%
未回答	8	1.3%
合計	599	100.0%



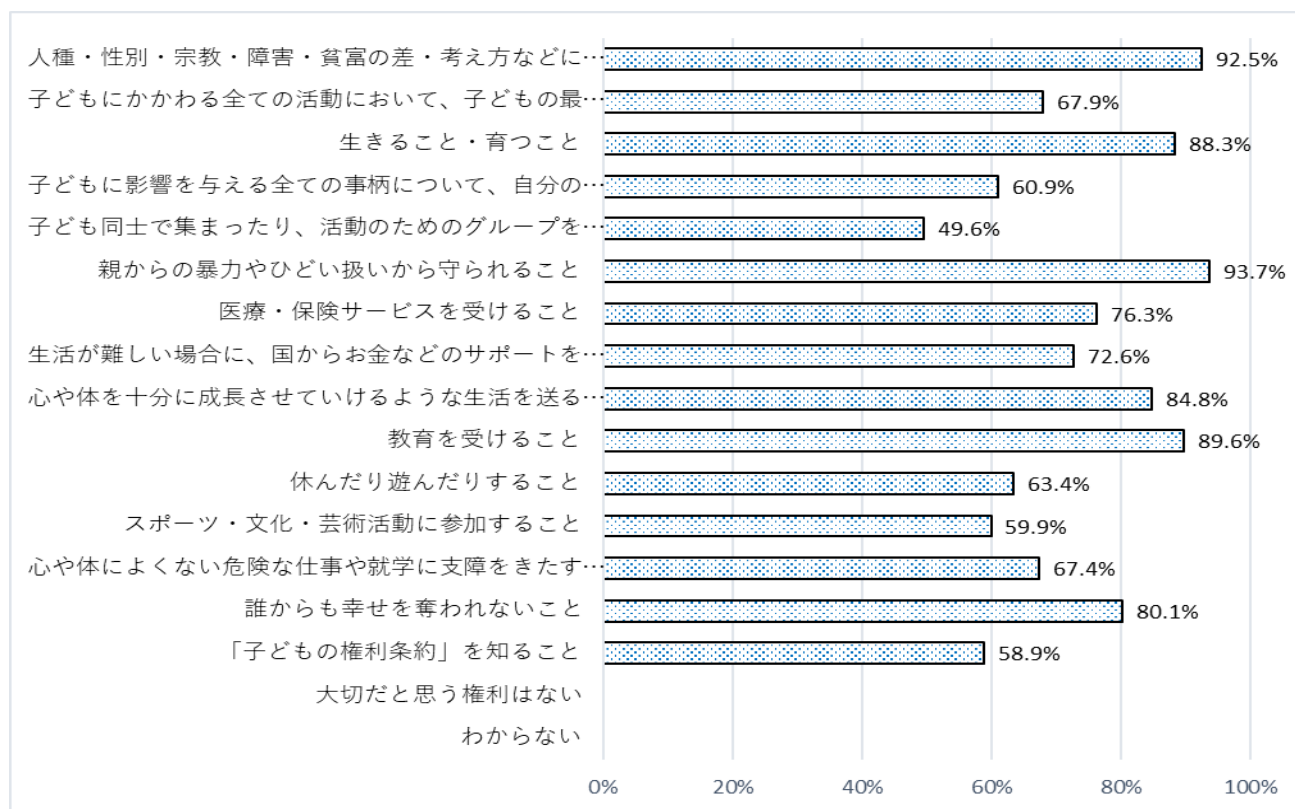
所属別にみると、児童クラブでは「聞いたことはあるが内容は知らない」が44.6%、「ある程度知っている」が43.4%と拮抗していますが、それ以外では「ある程度知っている」が最も高い割合となっています。



区分	詳しく知っている	ある程度知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	知らない	未回答	合計
保育所、幼稚園、認定子ども園等	14	106	42	2	1	165
	8.5%	64.2%	25.5%	1.2%	0.6%	100.0%
児童クラブ	3	76	78	14	4	175
	1.7%	43.4%	44.6%	8.0%	2.3%	100.0%
小学校・中学校・高校	15	57	2	0	0	74
	20.3%	77.0%	2.7%	0.0%	0.0%	100.0%
児童発達支援事業所	4	66	28	4	2	104
	3.8%	63.5%	26.9%	3.8%	1.9%	99.9%
主任児童委員	1	51	23	4	0	79
	1.3%	64.6%	29.1%	5.1%	0.0%	100.1%
未回答	0	1	0	0	1	2
	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%
合計	37	357	173	24	8	599

問3 子ども（児童）の権利条約は以下のような子どもの権利を保障しています。大切だと思う子どもの権利を全て選んでください。

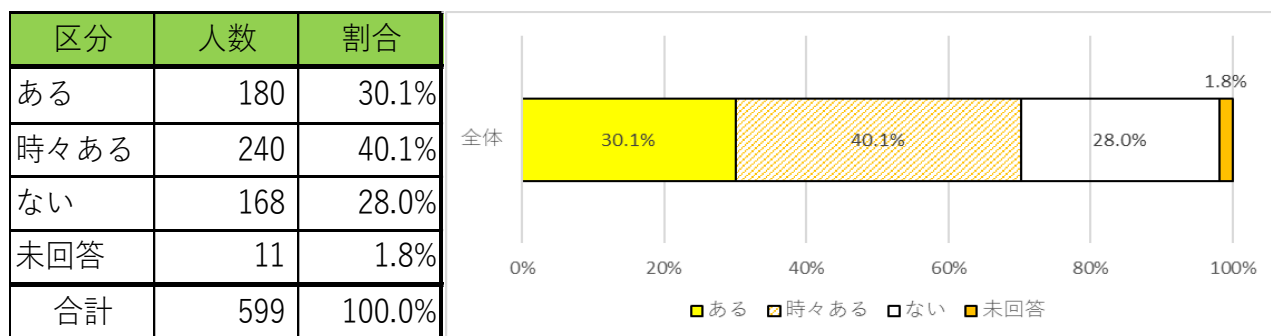
「親からの暴力やひどい扱いから守られること」が93.7%と最も高い一方、「子ども同士で集まったり、活動のためのグループを作ったりすること」は49.6%と5割を切っており、権利の内容によって回答に差が出ています。



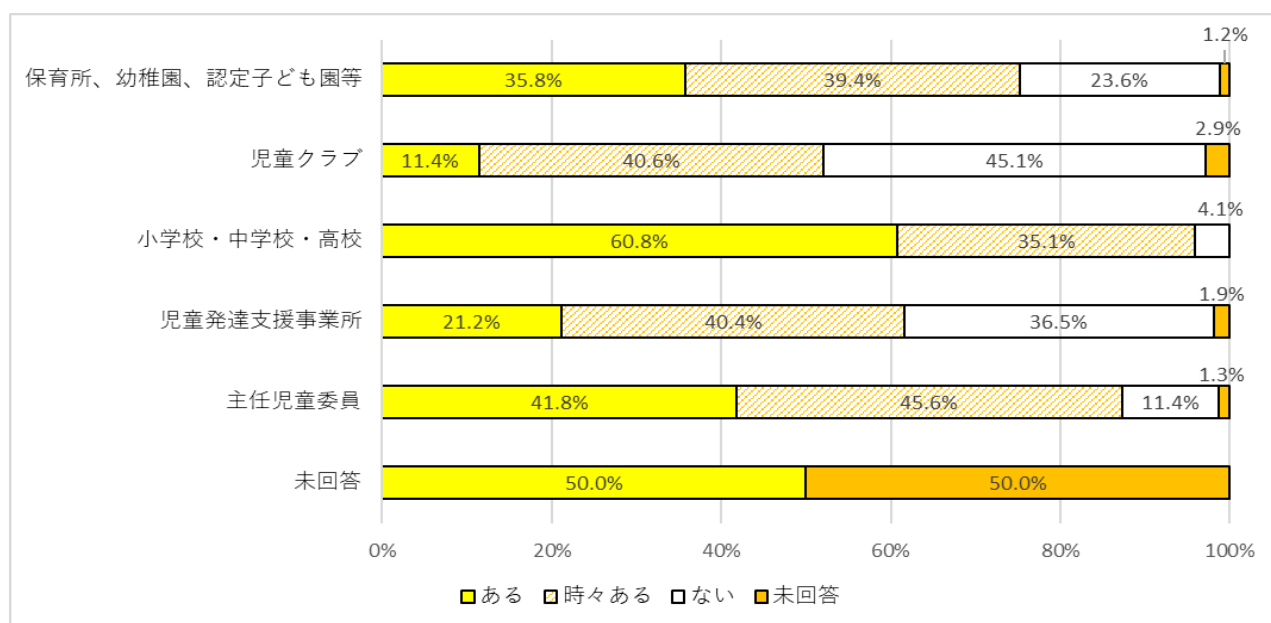
区分	人数	割合
人種・性別・宗教・障害・貧富の差・考え方などによって差別されないこと	554	92.5%
子どもにかかわる全ての活動において、子どもの最善の利益が第一に考えられること	407	67.9%
生きること・育つこと	529	88.3%
子どもに影響を与える全ての事柄について、自分の意見を自由に表すこと	365	60.9%
子ども同士で集まったり、活動のためのグループを作ったりすること	297	49.6%
親からの暴力やひどい扱いから守られること	561	93.7%
医療・保険サービスを受けること	457	76.3%
生活が難しい場合に、国からお金などのサポートを受けること	435	72.6%
心や体を十分に成長させていけるような生活を送ること	508	84.8%
教育を受けること	537	89.6%
休んだり遊んだりすること	380	63.4%
スポーツ・文化・芸術活動に参加すること	359	59.9%
心や体によくない危険な仕事や就学に支障をきたす仕事から守られること	404	67.4%
誰からも幸せを奪われないこと	480	80.1%
「子どもの権利条約」を知ること	353	58.9%
大切だと思う権利はない	0	0.0%
わからない	0	0.0%
合計	6,626	—

問4 職場で、職員等が子どもの権利を学ぶ機会がありますか。(主任児童委員さんの場合は、児童委員の立場として、研修の機会があるかどうかお答えください。)

全体では、「時々ある」が40.1%と最も高くなっています。



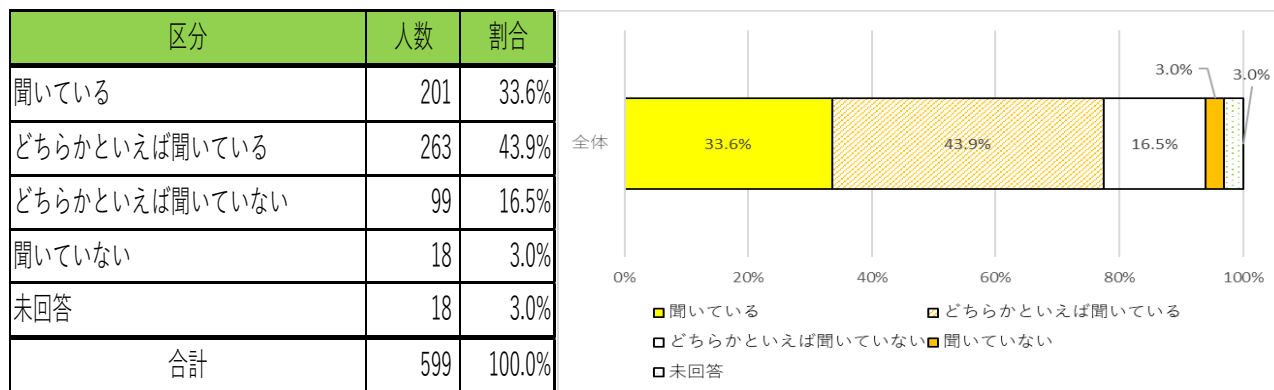
所属別にみると、小学校・中学校・高校は「ある」が60.8%であるのに対し、児童クラブでは「ない」45.1%となっており、所属によって研修機会に差が出ています。



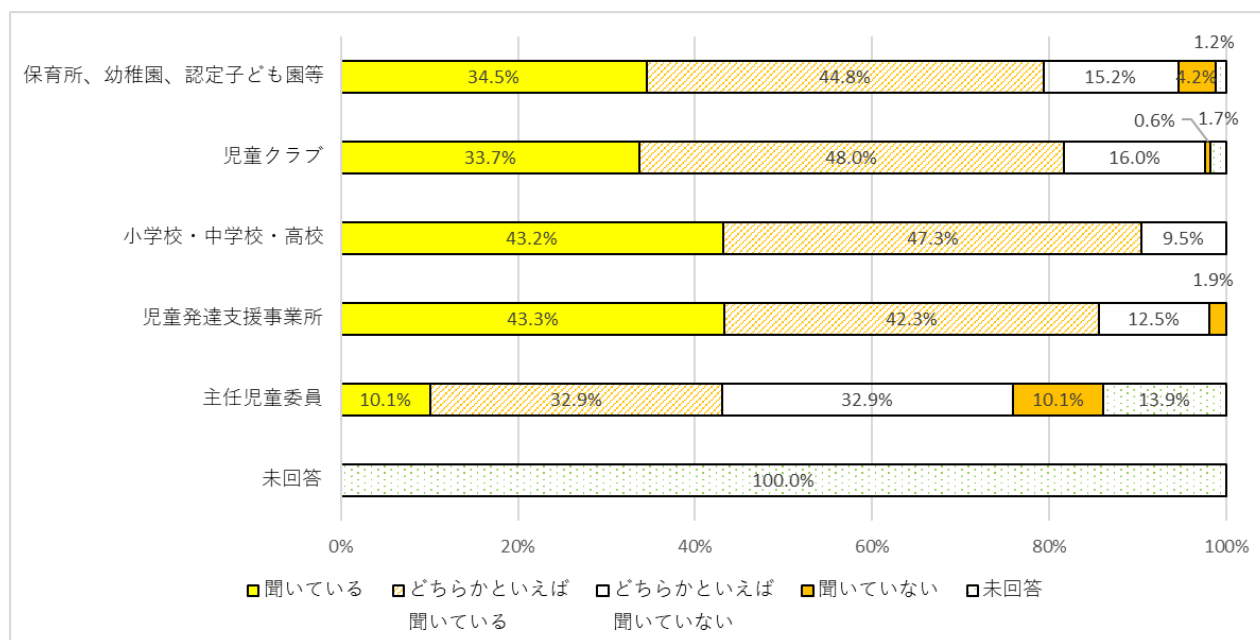
区分	ある	時々ある	ない	未回答	合計
保育所、幼稚園、認定子ども園等	59 35.8%	65 39.4%	39 23.6%	2 1.2%	165 100.0%
児童クラブ	20 11.4%	71 40.6%	79 45.1%	5 2.9%	175 100.0%
小学校・中学校・高校	45 60.8%	26 35.1%	3 4.1%	0 0.0%	74 100.0%
児童発達支援事業所	22 21.2%	42 40.4%	38 36.5%	2 1.9%	104 100.0%
主任児童委員	33 41.8%	36 45.6%	9 11.4%	1 1.3%	79 100.1%
未回答	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	2 100.0%
合計	180	240	168	11	599

問5 子どもの権利条約は大きく4つの権利（①生きる権利②育つ権利③守られる権利④参加する権利）に分けられます。そのなかの④参加する権利に関して、職場で、子ども（児童・生徒）に関わること（運営方針、授業・保育内容、行事、支援方針等）を決めるとき、子ども（児童・生徒）の意見を聞いたり、年齢等に応じて子ども（児童・生徒）の声に耳を傾けたりしていますか。

全体では、「聞いている」「どちらかといえば聞いている」が77.5%となっています。



所属別にみると、主任児童委員は「どちらかといえば聞いている」と「どちらかといえば聞いていない」が32.9%と同数になっていますが、その他では「聞いている」「どちらかといえば聞いている」が高くなっています。主任児童委員は、個別のケース対応や、地域の子育てサロン運営などで、子育て家庭と関わることも多いと考えられ、直接、子どもの意見を聞くというよりは、保護者や地域の方の意見を通して、間接的に子どもの声を聴いている場面が多いことが考えられます。



区分	聞いている	どちらかといえば聞いている	どちらかといえば聞いていない	聞いていない	未回答	合計
保育所、幼稚園、認定子ども園等	57 34.5%	74 44.8%	25 15.2%	7 4.2%	2 1.2%	165 99.9%
児童クラブ	59 33.7%	84 48.0%	28 16.0%	1 0.6%	3 1.7%	175 100.0%
小学校・中学校・高校	32 43.2%	35 47.3%	7 9.5%	0 0.0%	0 0.0%	74 100.0%
児童発達支援事業所	45 43.3%	44 42.3%	13 12.5%	2 1.9%	0 0.0%	104 100.0%
主任児童委員	8 10.1%	26 32.9%	26 32.9%	8 10.1%	11 13.9%	79 99.9%
未回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	2 100.0%
合計	201	263	99	18	18	599

問6 子どもの権利を尊重する社会の構築に向けて、市役所に期待することは何ですか。

市役所に期待することとして、大きく12の視点で意見が寄せられました。

①大人や社会に対する意識啓発等に関すること

子どもの権利や児童の権利に関する条約について、研修会や啓発活動を望む声が多く寄せられました。子どもの権利を守り、尊重するには、まずは保護者をはじめとした大人が認識し、多方面から啓発していく必要があります。

NO	意見（原文のまま）
1	もっとこどもの権利などについて市民へアピールして欲しい
2	周知・啓発活動
3	正しく理解を広めるよう、広報してほしい。
4	更なる周知、広報活動に力を入れてもらいたい。
5	・子どもの権利についての研修や勉強会の提供・啓蒙
6	福祉施設や地域、関係する機関に向けた研修等の実施
7	子どもの権利条約を広めてほしい
8	”子どもの権利条約”について、子どもに関する職種等には、広報が届いていると感じるが、その他の職種や保護者等にはまだまだ深く知れ渡っていないと感じています。子どもの権利条約にちなんだ大規模なイベント（毎年実施）をぜひ、鹿児島市・県で実施し、子どもを守り・育てる鹿児島を全国にアピールしていただきたい。
9	子どもと言っても0歳から18歳と年齢差が大きくその時期で、権利の内容が変わるので4つの権利の年齢別での指針があれば、良いかと思いました。
10	職員が学べる場を作ってほしい
11	・とりあえず啓もう活動でしょうか。
12	研修会、対話、交流の場をつくって下さい。 広く知らせる。
13	・子どもの権利に関する情報の周知
14	子どもの権利の守られる社会は、大人も暮らしやすい社会です。まず大人の意識を啓発する機会を設け、大人に働きかけてほしい。
15	・大人への啓発のために、情報発信をしていくことが大切かと思われます。
16	・「子どもの権利条約について」保護者にもっとアピールして意識づけていく。
17	このようなアンケートを通じて、国連で採択された「子どもの権利」について考える事が出来たので、これからも研修等の機会を増やして頂けるとありがたい。 また、この権利をしっかりとクリアしていけるよう、真剣に取り組んでいかなければならないと思う。
18	青少年健全育成活動の中に子どもの権利を学ぶ研修を増やしてほしいです。
19	あまり内容を知らないので多くの人々に知らせる広報を進めてほしい。
20	大人の（支援員）理解が必要だと思います。私もそうですが、あまりこの件に詳しくないです。研修だったり、資料のほうを作成してほしい！

2 1	先日、市から「セーフコミュニティ推進フォーラム」の案内が届いた。参加しようかと思っただが、時間的に午睡の時間帯で手伝いに入らないといけないのでちょっと無理のようである。今、子どもをとりまく環境が大変な状況であるので、開催時間等を考慮していただき、こういう子どもに関する会を増やしていただけると参加しやすくなり、学ぶ機会が増えるのではと思う。
2 2	○研修の機会の設定 ○マスコミを通じた周知
2 3	研修があるとうれしいです。学びたいです。
2 4	高齢者福祉施設と母子支援施設の現場にいた時に、福祉にたずさわる方々のモチベーションを下げるような実態を数々見てしまいました。子どもの問題は親やその上の世代の問題です。一職員、一委員の立場ではどうすることもできないことが多いです。皆で支え合う、一部の人に頼らない街づくりを考えていくことができるよう発信してほしいです。
2 5	関わる人達の向上の為に、学ぶ場を参加しやすい形で企画してほしい。
2 6	・啓発活動の継続 ・権利を尊重したことで改善されたこと、よくなった事例の報告を発進すること
2 7	子どもの権利条約にともなう行事や配布物、講演など
2 8	子どもの権利を尊重する社会の構築に向けての啓発活動
2 9	定期的な研修を拡大
3 0	支援員等研修で研修をしたい
3 1	子どもの・生きる権利・育つ権利・守られる権利・参加する権利を支援するには、子どもの権利条約の普及と啓発を進めていくことを望みます。子どもに関わる大人たちの人権啓発や子どもが学ぶ機会を作してほしい。
3 2	子どもの権利未来応援条例（仮称）のように、わかりやすい呼び名、名称で広く周知できるようにしてほしい。そして、子どもに関わる教育機関の方々への周知が大切かなと思います。
3 3	子どもの権利条約に関して、具体的によく知らない支援員もいると思うので、是非研修会等を用いて認識を広げ、深めてもらいたい。
3 4	若い子育て中のお父さんお母さんの教育の場や学ぶ機会を作してほしい。
3 5	子供は、親の愛情を一心に受けて、成長するのがあたり前です、生まれてくる子供は親を選べません。様々な形で、虐待やネグレクト状態になっく親子状態を耳にします。保護者の方々に、命の大切さをしっかり意識して、子育てしていく、気づかせることをやっていただきたいです
3 6	子どもの保護責任者向けの講座等の充実をもっと行って下さい
3 7	子どもの権利や子そだてについての冊子など配れるものを作ってほしい。（マンガなどで作ってもらえると子どもといっしょに見ることが出来るかも）
3 8	すでにされているとは思いますが、保育園、幼稚園、学校から親に対して「子どもの権利条約」を理解してもらおう。何度も続けていくと浸透するのでは。
3 9	子育てをしている全ての家庭に、子どもの権利について知ってもらおう機会を増やすこと。
4 0	各施設への啓蒙活動、セミナー開催

4 1	1 子どもの権利条約の広報活動(大人向け・子ども向け) チラシ、DVD(子ども向けはアニメ)、KKB[元気ボックス]等の活用 2 子どもの権利を尊重する活動を継続している学校や事業所等の表彰
4 2	1年に1回でもいいので、こども向け(幼児、児童、生徒それぞれの年齢に合わせて)のパンフレットや分かりやすい内容の冊子の配布を行い、『自分にはこんな権利があるんだ』という認識を持つ機会を持てるようにしてほしいです。また、子どもの権利条約に関する研修会を行い、子どもに関わる大人一人ひとりの認識を深める機会を作ってほしいです。
4 3	保育園、幼稚園、学校などにおいて、子供の権利を守る啓発活動を率先して行ってほしい。
4 4	研修機会の提供と情報発信
4 5	テレビCMなどの広報 YouTuberとしての情報発信
4 6	・メディア等での広報
4 7	子どもの権利を守るためには、社会全体が同じ意識をもたないとなかなか実現できないと感じています。
4 8	○「子どもの権利」についての周知活動
4 9	・子どもの権利条約についてもっと知る機会が必要。
5 0	子どもや保護者、関係機関に地域に子どもの権利条約(4つの権利)を周知する、または周知する機会を設けていただく。また、子どもの権利を尊重する社会の構築のために取り組まれている具体的な支援や機会、制度の内容の情報発信など
5 1	情報の発信
5 2	子どもを「個」として尊重し育てる意識を社会全体や特に関わりの深い保護者や教育機関に対して啓蒙して頂くことを期待する。
5 3	こども福祉課家庭係と事業所とのつながりはあまりないと思われます。しかしながら、障害児を預かっていますので、子どもの権利条約は勉強したほうが良いと感じました。 出来れば勉強会やセミナーを開催していただきたいです。また、子どもたちへの周知活動も積極的に取り組んで頂くことを期待します。
5 4	保護者へ周知徹底することをお願いしたいです。
5 5	全ての子どもが生まれ育った環境に左右されることなく、現在から将来の生活にわたり夢や希望をもてる社会の実現を目指せるような教育や、サポートができる保育の現場に一番近い人材の意識改革が、必要だとおもいます。
5 6	・日本が子どもの権利条約に批准していることを、保育所や児童発達の利用の申し込み等の際(様々な行政への家庭からの申請・例:児童手当の毎年の申請の際など)に大切な4つの権利を知らせる、内容を渡す、伝える。 ・教育委員会等を通じて、学校内で大人と子どもと一緒に学ぶ。
5 7	・子供の権利についての更なる周知と啓発
5 8	まず「子どもの権利条約」の存在を、もっと一般的に周知されることが重要だと思います。保育業界の中では研修等で教育はされますが、子どもの権利を知らない保護者や一般の方は多

	いようです。一般メディア(NHK 以外でも)で一般の方が興味を引くようなCM(189 の様な)、番組等で分かりやすく条約内容と重要性を周知できれば良いのではと感じます。
59	・こどもの権利、健全育成のための施策、こどもの権利の普及
60	既にやっていたかと思いますが、「子どもの権利」をできるだけ多くの人に知ってもらうための取り組み、子供が困ったときにすぐに相談できる場所・連絡先が分かる手段、受けられるサービスについて子供にも大人にも分かりやすい情報提供などを整えていただくと助かります。
61	就学前は定期健診の際に保護者へ発信し「知る」を増やす。就学後はゆとり?の時間を活用して子ども自身に自分の権利が何なのかを学ぶ機会を設ける。
62	節目・・・例えば3歳。6歳。12歳などで集団で保護者と児童・生徒に発信する機会を強制で設ける。
63	子ども達は地域の中で生活し育つため、子どもに携わる人(専門家)だけでなく、保護者を含め、一般の方々にも広く社会全体に向けた「子どもの人権について」のパンフレット等を配布・発信するとともに、そのような研修の場を設けて欲しい。
64	研修の機会を作ってほしい
65	子どもの権利条約についてみんなに知ってもらうための施策の推進
66	教育委員会と連携して「子どもの権利条約」パンフレットを学校を通して家庭に配布して子どもと保護者の意識改革の一助とすること。
67	今後も啓発を続けることにより、子供たちが親の世代になったときに、親(大人)・社会全体がこの権利を尊重できるように根気強く働きかけてほしい。
68	研修を受けられる機会が数回あるとありがたいです。
69	研修の回数を増やして頂き、子どもの権利についての意識付けをしてほしいです。
70	「子どもの権利条約」はとても大切なことだと改めて思いましたので、職員へより多くの理解・周知をしてもらう為に職員向けの研修等を開催して頂きたいです。 それに加えて職員向けの研修等を市役所の方が来て頂けるような仕組みがあれば良いと思います。
71	私達もあまりこの条約の事を知らなかったもので、もっと鹿児島の方達に知ってもらえるように、市役所から発信できるといいなと思いました。
72	研修の機会を増やしてほしい。
73	子どもの権利をわかりやすく市民に向けて広報してほしい。届いていないところがあると思うので。
74	全ての子どもが安心して暮らせる町づくりを目指して、法整備及び人員の確保を早急に求め、大人への啓発を進める施策を検討してほしい。
75	同条約の啓発と状況確認・指導
76	こういう内容の研修を積極的にやっていきたいが、専門的な知見から話ができるものが組織にいないので、講師派遣などをして欲しい。
77	市民に対して子どもの権利条約についての普及・啓発を進める事。そのために大人と子どもが(子どもの権利について)共に学ぶ場を提供する。

78	市民へ対して、児童の権利に関する意識の啓発。
79	子どもの権利を分かりやすく伝えること
80	いつもご尽力いただきありがとうございます。今後もすべての大人が子どもの権利条約について広く認識をもち、様々な関係機関との連携が図れることを望んでいます。
81	・啓発活動を継続して行っていただき、地域全体の意識を高めること
82	「子どもの権利条約」は、国際的に定められた条約であるということ。18歳未満の子どもたちには、自分たち自身に「4つの権利がある」ということを学ぶ機会を設けてほしい。また、18歳以上の大人には、子どもの権利を尊重する義務があることを広く社会、国民、県民、市民に伝えていけるように啓発を行ってほしい（ポスター掲示・イベント・母子手帳・妊娠期(思春期)からの子どもの人権学習など。
83	大人が、こどもの権利について学習する場を増やす。
84	市民に向けた入りやすく分かり易い広報を行い、興味をもってもらえるような環境づくり。弁護士などハードルが高いと感じるものへの払拭。
85	・子どもの権利条約について周知する事。
86	子どもたちのことを中心に考え、実行し、そのことを少しでも多くの人たちに広めてほしいです。
87	・子どもの尊厳が守られるには、私たち大人が子どもたちをどう捉えているか考える機会を与えてほしい。未来の社会を担う子どもは、その地域でどう育てほしいし自分たち（子ども）が選べる、選択できる社会になっているか。大人への子どもを大切にす明確な提言を示してほしい。
88	・子どもの権利を尊重する事が、実生活に関わる事として表れるようにしてほしい。
89	・子どもの権利という、抽象的な言葉でなく、子どもの権利というものが、どういった事なのか、具体例をあげて、沢山の市民に知ってもらい、子どもたち自身にも、守られるべき存在なのだとして一層伝えてほしい。
90	子どもの権利条約の啓蒙。子どもの権利条約については、まだ十分に知られておらず、多方面で行政が知らせていく努力が必要だと思う。
91	大人が子どもの模範になるような手立てを行政にお願いしたい。（コロナ禍における行動にしても大人が手本になっていない）
92	4つの権利がある中で、実際に子供の権利を大事にしていない保護者に対してどのように権利を伝えていくのか？実際に困っている児童数の調査と今後の対応について教えてほしい。
93	乳幼児期は親との関わりがもっとも大切な時期です。あっという間に大きくなる子どもの今、この瞬間が大事です。親がお休みの時は家庭保育ができるように、子どもの(育つ権利)(守られる権利)(参加する権利)を子育て世代にも啓蒙して欲しい。いまの鹿児島県の施策は親の利便性重視になっているように感じます。子どもの視点に立脚した、子どもの権利が尊重される社会構築をお願いします。
94	社会全体の意識を高めるためにも、市全体で取組むという姿勢を見せてほしい。
95	学校教育・教育委員会の意識改革を推進していただきたい

②子どもに対する取組に関すること

子どもに対する取組としては、子ども自身が権利や人権について学ぶことができる機会についての意見、子どもが安心して過ごすことのできる居場所に関する意見、子どもの状況に応じた相談窓口に関する意見、様々な体験活動に関する意見などが寄せられました。

NO	意見（原文のまま）
学び	子どもの権利を子供自身が知る為に、小学生・中学生・高校生ぐらいを対象に、子供が学ぶ機会を作ってほしいと思います。（学校へ出向いて講演会をする等）
学び	小学校への出前授業
学び	子どもに対して人権尊重の啓発を積極的やってほしい。
学び	子ども自らが持つ権利を知り、主張が出来るよう「子どもの権利条約」をもっと世間に知ってもらえるよう周知活動をして欲しい。（子ども向けの小冊子等を学校で配付する）
学び	子どもの権利をしっかりと子どもに学んでもらうこと。理解してもらうこと。 子どもがその権利を自発的に発信できるようにしていく社会環境にする。
学び	学校で子どもの権利について、勉強をする時間を作ってほしい。 権利と、義務を教えてほしい。
学び	子供達自身が“子どもの権利”を知る事がとても大事だと思うが、その機会をどういった形で作っていくのか。小学校の授業の中に取り組んでいくとか。小さい子ども達でも理解できるような取り組みを。常日頃、知る事の出来るような社会にしたいと思う。
学び	子どもの基本的人権について、学校での子どもたちへの周知に努めてほしい。
学び	幼稚園や保育所に通う子どもたちが、自分の権利について分かるような DVD や絵本などの制作
学び	さまざまな生きていく手段がある、選択できるということ子ども自身が幼少期から知るといこと。 学校に行かなくても生きていく手段はあるし、実の親の世話にならなくても生きていける、ということをも身をもって知れるようにしてほしい。
学び	学ぶ機会、遊ぶ機会、人権を考える機会を増やす。高度な教育を続けていく
学び	学習支援
学び	・推薦図書、絵本などのプレゼント
学び	・障がいの有る子どもや不登校児、学業不振の子どもたちが学べる場の拡充
学び	選挙では、子どもにとって知らない事がたくさんあるので、授業に取り入れて、党の説明をするのもいいと思う。高校や大学に投票箱を設けるなどもっと目に見える工夫が必要では。
居場所	子どもが困っているときに相談しやすい環境や子どもが安心できる居場所の提供
居場所	子供が自分の気持ちを言える場所を身近に作ってほしい
居場所	・集まれる場所を保証する為に、子どもの居場所作りのバックアップをお願いしたい。
居場所	子ども参加の諸活動の推進、青少年が主体的に企画や運営に参加できる場を提供する。
居場所	・子ども同士が交流の持てる機会、場所作り、施設の整備 ・親子と一緒に家以外の閉鎖的でない環境で休める環境作り
居場所	両親が共働きが増え、ひとり寂しく家で過ごしている子が多い。そんな子ども達を受け入れる

	場を多く作る。又、学びたくても家庭の事情で学べる機会を失っている子ども達たくさんいると聞きます、将来を背負う子ども達に学ぶ支援を充実させてほしい。
居場所	・子ども側からの目線で「自分達の権利」について、子ども達が発信できる場を作ってほしい。
居場所	子どもたちが、生き生きとできる場、場面をふやす。子どもたちの話し合いの場 (学校の枠をとりはらって) 子どもの悩みを聞く場面を機会をもうける 子どもたちが、しっかり自分の考えを持つように育てることも重要。 子どもたちに、子どもたち向けの講演会を行う。
居場所	様々な企画がなされていますが、小さい子どもほど、親の都合で、企画に参加できる子、できない子がでてきている様に思います。多くの子どもかできるだけ参加できる様、学校での仲間と企画に参加できる機会が多くなると良いと思います
居場所	・1人ひとりの個性が尊重され、子どもが安心して生活できる居場所づくり
居場所	・子ども食堂の充実
相談	・子どもが安心できる大人に気軽に相談できる窓口作り その窓口を子ども達にも広く伝える活動
相談	子ども自身が困った時、スムーズに相談、フォローできるような子ども向けの気軽な窓口づくり。(わかりやすく目立った雰囲気)
相談	・子どもが置かれている状況に配慮した相談・救済
相談	不登校児童・生徒をなくすための相談機関の充実・拡充等
体験	子どもの豊かな人間性、社会性を育てるための様々な活動や他者との関わりを通して将来の社会的自立へと繋げる子供の参加を増やす。そのためには、いろいろな体験活動の場をもうけ地域活動やボランティア活動により他者との連携や協調を身につける。地域の方々や専門機関の協力のもと公民館や児童館など、こどもたちが楽しめるイベントを制作し、不登校やひきこもり、孤立しがちなこどもたちが利用しやすい場を作るようにすることが必要ではないかと思っています。
体験	知識・意欲のある中高年・シニア世代を講師として養成し、子ども、若者との世代間交流を進めて欲しい。
体験	自然体験活動、地域、ボランティア活動
体験	芸術に関する事をお願いしたい
体験	子どもと市長と語る会を開催して、子ども自身に自分も大切な社会の一員であることを自覚してもらうこと。
体験	学校給食等で、豪華でなくていいので、地元の旬の食材を使ったおいしい料理を子ども達に提供してほしい。まずは、衣食住を安心して享受できることが大切だと思う。
その他	義務教育を終え、上級学校への進学または就労後の3年間の観察、支援。
その他	・奨学金関係
その他	家庭の経済状況等に関わらず、自分の進路を選べるための奨学金(無利子)等の充実
その他	子ども支援の充実を図ってほしいです。
その他	市民サービス=親へのサービスとなっているので子ども主体に考え、それを主張する部分が

	あっても良いのではと思う。
--	---------------

③子どもの意見尊重について

子どもに関する取組の中でもとりわけ多かったのは、市の方でも子どもたちの声を聴いて、現状を把握して欲しいとの意見でした。

NO	意見（原文のまま）
1	市の方々がこどもたちと交流しこどもたちの考えを聞いてください。学童で10年以上働いてきました。こどもたちは、私たち大人が思っている以上にいろいろな考えをもっています。
2	子どもたちの実態把握に力を入れてほしいと思います。子どもたちの小さな声を聞きのがさないでほしいです。
3	こどもの意見も聞いてほしい。 その上で現状を、把握してほしい。
4	子どもたちの現状をしっかりと把握してほしい。 支援を必要とする子どもがきちんと支援を受けられるようにしてほしい。
5	支援を要する児童の実態把握
6	子どもの声に耳を傾ける。 子どもの自由な意見を聞き、その子どもに応じて対応する。
7	自分で主張できる子どもだけではなく、声の小さい子ども、声を出せない子どもの意見や気持ちを確認するためのメソッドを構築してほしい。声を挙げないだけで、抱えている思いがあるという子どもはたくさんいると思います。
8	・子ども言うことに耳をしっかりと傾け、大人が答える余裕をもつ。 ・子どもを甘やかすことはダメ。しっかりと話し合い納得と了解をとる。
9	机上の事だけでなく現場に目を向けて子ども達に今現在どういう事が起こっているのか安心、安全、今を生きることの楽しさが育まれているのか、こどもひとりひとりの気持ちがきちんと把握出来ているか。
10	子ども自身の声が届くシステム作りが必要かと思いますが…
11	年齢に応じて子どもの声を聞く機会をつくること。会議に参加、コメントを集めるなど。子どもの施設ですごしてみる。体験、研修、出向、、、実際に知ってほしい。
12	・子ども達自身や関係者の生の声を聞く機会等を設けていただき、現状に合った権利擁護が図られること
13	子どもの最前の利益を保証し、教育、スポーツ、文化、また、生きる権利、意見表明など子どもの意見を行政に反映出来る仕組みをお願いします
14	障害者や子ども、高齢者等に係る権利に関する法令等については、当事者や関係団体の意見を確かに聴取することが大切と言われています。本条例策定に当たっても、子どもの意見を聴く機会や場を持つことを期待します。
15	世界の現状を知らせるとともに児童生徒の考えを聞いていただければと思います。
16	・子どもの声をきける場や時間をつくる催しや、子どもの権利条約の講演

17	<p>コロナ禍で色々な交流の場が出来なくなったことで楽しみが少なくなったことと思います。</p> <p>子供の話を聞く場が多くなったらと思います。</p> <p>子供が興味のあるイベントが増えたら良いのではと思います。</p>
----	---

④保護者・家庭の支援に関すること

子どもへの支援はもちろん、保護者や家庭が精神的・経済的にゆとりを持って子どもと接することが重要であることから、経済的に困難を抱えた家庭やひとり親家庭への支援をはじめとした子育て支援を望む意見が多く寄せられました。

NO	意見（原文のまま）
1	行政機関として、一番期待することは、子どもが幸せに生活できるように、家庭に必要な金銭的な援助や医療・保険サービスが受けられるよう、また必要な家庭に十分に行き届けられるようにしてほしい。
2	要支援家庭の支援充実
3	貧困などの家庭（子ども）にお金のサポート。
4	経済的に困窮している家庭への支援
5	生活や子育てに困っている親のサポート
6	子供の教育に困難さがある家庭への支援（経済的、保護者の生活能力等）をお願いしたい。（これまでも取り組んでくださっていますが…）
7	厳しい家庭環境の子供たちの把握とお金もの育児サポートの提供。親になるための学びの場の提供。
8	金銭的に余裕がない家庭でも子育てがしやすい援助など、鹿児島市はもっと子育て支援に力を入れて欲しい。
9	低所得世帯、ひとり親世帯の子ども（親権者）への支援（今より更に）
10	片親家庭への支援。
11	経済的支援の充実
12	・家事・育児へのヘルパー派遣、子育て世帯を応援するクーポン等の配付を増やす。
13	離婚や母子家庭等複雑な家庭事情の影響で学校での安らかな生活が保障できない児童が最近増えている。子育て支援をさらに充実してほしい。
14	シングルマザーなどの単身世帯、非課税世帯がコロナ禍で苦しい生活を強いられている世帯への経済的援助、支援をしてほしい。家庭や保護者の安定が、子どもたちの権利の尊重につながると思います。
15	・子育てに困りのある親に対しての相談できる場所の提供や教育機関への場所提供の窓口となって頂くこと。
16	・保護者支援の重要性。
17	親支援にも力を入れてほしい。 （子どもと楽しく接することが出来るよう情緒面などのサポート）
18	①生きる権利について例年、痛ましい事件が後を絶たないため、18歳未満の子どもを持つ保

	<p>護者に対し育児についてのサポートをしてほしいと考えます。子どもの権利と言えど保護者にも考えを聞く場が大切。親が心に余裕をもって育児が出来る様、そして特に小さい子を預けられるよう一時保育の補助をすることが良いと考えます。</p>
19	<p>・子育て支援の場の充実を高め、子どもに限らず、保護者への援助の幅を広げていけるような環境作り。</p>
20	<p>子育て中のお母様たちの相談しやすい場所であってほしい。</p>
21	<p>・成長過程で特別な保護や配慮が必要なお子様のいる家庭（保護者）への支援強化。</p>
22	<p>核家族化やコロナ禍で保護者は、他の保護者や様々な集いの場に関わる機会が減少しています。子どもを育てる上での悩みや迷いストレスを抱えながら頑張っています。先日厚生労働省から園に届いた「体罰等によらない子育てのためのポイント」のプリントを保護者に配りました。保護者の心が和らぐことが、子どもが安心して自分らしく生きること、また、子どもの権利が守られることにつながるのではないかと思います。保護者の子育ての悩みや迷いを軽減するような配布物等があると嬉しいです。</p>
23	<p>・保ゴ者が安心して育児に取り組める支援 （例. 保護者、両親が毎日での職場で） （保育園と家庭、地域社会との連携した保育の支援）</p>
24	<p>子どもが幸せに生活していくには必ず保護者が幸せじゃないといけないと思うので、生活の安定、本当に必要な所にお金がかかる制度や、親からの虐待、友だちからのいじめを早期に発見する見逃さないことに力を入れてほしいと思う。</p>
25	<p>出産の時から、また、子どもを授かるにあたって、まず母親になる母を安心できるような、学びの場や、ゆとり教育をできる場があったらいいなと、思います。子どもが生まれてから、パニックする前に子どもとは、赤ちゃんとは、喜びのもとに生まれて楽しく子育てするんですよ！というような、母親の不安を安心にかえての子どもの授かりであってほしい。</p>
26	<p>保護者、特に母親に対しての支援（例えば、子どもが満3歳になるまでは家庭保育の場合は、育児支援金（毎月10万円）の支給や、働いている母親であれば10万円分の育児サポート（ベビーシッター）支援金を支給するなど）等を充実して、母親の精神的ゆとりを作りたい。</p>
27	<p>子どもの成長を支える主軸となる保護者が、余裕を持って子どもの成長に関われるよう、保護者を支える仕組みが大切だと感じます。子どもとの時間を設けたくても自身の事で精一杯といった状況も感じます。経済的にも精神的にも時間的にも保護者が子どもたちに寄り添えるような制度作りに期待します。</p>
28	<p>子育てに悩む保護者のサポートを強化して欲しいです。</p>
29	<p>子どもの家庭環境（特に低所得、母子・父子家庭等）に問題がありそうな児童について、実態を把握して、対策を取ってほしい。実際に見て、（足を運んで）解決に向けて取り組んでいただきたい。</p>
30	<p>子どもを育てる保護者に対する働きかけ</p>
31	<p>子どもが安心して暮らすには、保護者の生活の安定が一番だと考えるので、就労を含めた生活をしていくための環境支援を期待する。</p>
32	<p>子どもの思いや意見を聞いてあげるためにも親や関わる人がゆったりと優しい気持ちになれ</p>

	る環境
3 3	困っている家庭の味方になり、サポートできる保育施設やベビーシッター等を紹介する橋渡しを、これからも続けて欲しい。
3 4	子育てをする親に対してもっとサポート体制があれば良いなと思う。
3 5	・子どもの置かれている環境（家庭等）が閉鎖的にならないように、家庭の見守りや状況把握に努めていただき、権利の侵害から子どもが守られるよう、更なる取組に期待します。
3 6	・家庭の中への支援 ・子育てしやすい環境（親へペアトレなど）
3 7	子どもはもちろん、親の心と身体の豊かさをあたえられる様な環境づくりに心がけてほしい
3 8	子どものいる家庭を地域で見守るシステムの構築。 民生委員より、もっと細やかに、身近に相談できる専門職配置。
3 9	・子育て家庭に対する持続的な支援
4 0	子育てがしやすい環境や政策を期待します。
4 1	少子化が進む中妊娠中から子育て中の親子の様々な問題に親身に相談に乗り、適切な支援をお願いしたいです。
4 2	・妊娠時～子どもが18歳になるまでに、鹿児島市から受けられる助成等についての案内パンフレットの作成。 ・子育て世代にわかりやすい窓口、案内。
4 3	親の教育（子どもの権利に関して）をしっかりとした方が良いのでは??
4 4	保護者への子育てに関する指導の徹底。 特に誕生から小学校入学までの間の指導。
4 5	若い母親はわがママが多く、自分の言うことがすべてと思っている人が多く、若い母親学級のような所があると良いのでは?
4 6	子どもの育ちを第一義的に保障する立場である保護者に、自覚を促進する実りある啓発の強化。役割を超え学校への要望が多岐に渡っている。
4 7	家庭教育や家庭環境への支援体制の強化
4 8	親への子育て指南、子育て相談場所の増設
4 9	子どもを生み育てる親の方たちがこまり感や愛情面を伝えられたら

⑤児童虐待・子どもの貧困等に関すること

子どもや保護者に対する支援の中でも、児童虐待や子どもの貧困問題を危惧する意見が多く寄せられました。「⑨関係機関との連携について」ともつながりますが、子どもの命を守るために、市役所や児童相談所等との情報共有や連携を望む意見も見られます。

NO	意見（原文のまま）
1	児童虐待で子どもの命が失われる事件が後を絶たない。市役所（福祉課）も児童相談所、警察と連携して、もう少し踏み込んだ対応をしてほしい。
2	児童（幼児）虐待死問題が非常に多い。限界があつて難しい問題でしょうが、何かよい手立て

	がないか模索してほしい。
3	・家庭からの相談対応や児童相談所の受付時間の見直し ・職員数を増やし、又、職員の信頼性を高め、命を落とす子どもがいない社会にしてほしい。
4	家庭の理解協力 要保護児童の通報・保護
5	”家庭への立ち入りの権限”をもってほしい！保護者だけが、子供の最終的権限を持つ世の中では、解決できないことが多すぎます。今後の少子化が進む中で、子供を守ることができるのは親だけではなく、すべての大人でなくてはならないと感じます。行政にはすべての子供の権利を尊重するだけでなく、「守る！！」力をもっていただきたい。
6	ネグレクト等で児相に連絡し、市に斡旋されるケースがあるが、現状だけでなく将来の子供の成長を考えた時に早めに対応して欲しい事例がたくさんある。しかし、虐待と認定できないや緊急性がない、実際に起きていないなどで見守りで終わってしまうケースが多い。児相と市の連携がしっかりとれるように期待したい。
7	虐待防止
8	子どもが子どもらしく生きていけない状況にある時、早急な対応をしてほしい。（スピードが大事） 鹿児島市としての児童相談所を設置
9	・保健所→多忙だと思うが…・市の児相期間→県の児相はケースをたくさん抱えている。がいつ機能するのか？
10	・親からひどい扱いを受けている事がわかったらすぐに助けたり保護する措置をとっていただきたい。
11	・子どもの生きる権利が保障されていない状況（貧困やネグレクト等）を招かないよう、現状把握と具体的対策をお願いしたいです。
12	虐待やいじめで亡くなる子どもがいない社会になってほしいです。
13	虐待で守ってもらえなかった子どもが、一人でも減っていけるよう早めの発見、対応ができるような施策（システム）をお願いしたい。
14	・家事をしなくてはならないという理由で不登校になった女生徒に関わりをもった経験がある。ヤングケアラーの実態を調査できないものだろうか。
15	近年子ども達の色々な問題が増えてきていると思います。（不登校、ネグレクトなど）市役所の方からもケース会議での招集が増えてきました。私達にできる事は限りがありますが、専門の方々からのお話を伺ったり、どうしたらいいのかを話し合ったりしていく事により、少しでも解決の糸口をつかめたらと、市の方も努力している所だと思います。これからもお忙しいお仕事だとは思いますが、子ども達の為にも、私達大人が協力しながら色々な問題に取り組んでいってほしいと思っています。
16	守られる権利として、虐待等が起こった時に連携して（保育園等と）いただく事
17	昨今は親の虐待等で幼い子供達が命を落とす事が増加してきている。少しでも早く対処していれば助かったらと思う。児童相談所や市の子ども福祉課の方々も大変だとは思いますが、機能の充実をしていただきたい。

18	児童相談所などの人員増と各教育施設への連携。
19	子どもの権利を尊重する社会の構築イコール児童虐待のない社会だと思います。そのような現状にいる子どもが一人でも減るような対策をお願いしたいです。
20	児童相談所との連携をもっと密にして対応してほしい
21	あきらかに子どもに親が無関心だと分かっているにもかかわらず、そういう窓口を設けて欲しい。
22	子供の虐待など増えているので改善できるようにご尽力ください。
23	問5に示されている4つの権利の中でも①②③の権利さえ得られないで悲しい結果に終わってしまう子どももいます。 未然に防ぐ為の取り組み（なかなか容易ではありませんが）の充実を図る事をさらに期待しております。私達も一助になれば…とアンテナははっておりますが…。
24	困っている子ども達、その親が安心してすごせる様に、児童虐待等の事件が起こらない様に進んで介入して助けて欲しいです。困っている人がどこでも情報を得られる様に目に見える行政作りをして欲しい。
25	ネグレクト、不登校など、現状だけでなく子どもの将来を考えた時に早めに対策をして欲しい事例があるが、児相や市の機関に相談しても命の危険、緊急性、虐待が認められないなどで見守りで終わってしまう。
26	児童虐待をなくすことが大切である。そのためには乳幼児期からの子育て教育に関する学習の機会を設けることが重要であるとする。
27	○ 児童相談所等との連携による支援活動の充実
28	不登校や虐待などが疑われる時、保護者の就労状況や収入などの情報の提供と人的支援が欲しい。
29	親の養育能力に課題がある家庭への支援
30	被虐待児を1人でも減らし、全ての子どもが温もりある環境で育っていけるような体制づくり。 ・保護者支援 ・大舎制の乳児院、児童養護施設だけでなく、より家庭に近い形で養育出来るような環境を整える。（小舎制、里親制度など）
31	福祉の充実 児童相談所がより効果的に機能できるための支援
32	虐待（ネグレクト含む）を疑われる家庭への介入
33	虐待されている子どもを一時的に保護する施設の整備。 傷ついた子どもの心身をケアできる職員の育成、配置。
34	児童相談所への通報が多いとの事。対応に追われているとの事なので人員を増やす等、検討してほしい。
35	ネグレクト防止や保護者の子どもを守る意識を高めるための支援
36	児童相談所など子供に関わる行政機関の職員定数の増加と、子どもを守るための権限の強化が必要だと思います。

37	虐待やネグレクトを受けている子どもを保育園や地域の方々と連携していち早く発見して、命を奪われる事のない社会にしてほしい。 育児などで悩んでいる母子家庭や周囲に相談できる相手がいない方などにケアできる環境を作って、育児ノイローゼなどにならないように地域全体で母親にも寄り添っていける体制を作って欲しい。
38	・虐待や保護事案等の情報の共有、連携
39	権利を尊重されていない子どもの把握、及び保護者への適切な指導
40	養育に関すること(児童虐待、ネグレクトなどへの対応)
41	虐待に関して、どこまでの傷、あざが虐待なのか？ぶつけたあざなのか？迷ってしまいます。傷やあざの程度の基準やその段階に合わせて相談する機関のマニュアル等と作成してほしいです。マニュアルが標準化されると相談しやすくなり虐待予防ができるのではないかと。
42	・しつけとして暴力は当然という考えをなくす取り組み。
43	・親からの虐待を防げる社会になってほしい。拠点の整備と同時に、出てこられない家庭へのサポート体制の構築など。
44	・ペリネイタルビジット事業など、産前産後のケアが増えれば、子育てに対する不安も減るので虐待予防に繋がる。
45	・環境により、ネグレクトや虐待で命をなくしていく痛ましい事件がないよう、お願いしたい。
46	・家庭の様子を少なからず知っておく事で、保育所は子どものフォローが出来る。関係機関との連携が密でスムーズだと良い。子どもさんの入所にあたって、役所から必要な情報を得られなかった。虐待で苦しむ家庭の子どもが少なくなってほしい。
47	・虐待をうけている子どもの早期発見や育児が難しい親への支援
48	貧困家庭への援助 虐待児童の発見、保護、対応
49	・子どもの貧困、虐待等問題が多発している現在、児童相談所の職員を増やす。
50	家庭の状況により、様々な格差があります。支援員として、立ち入ることのできないもどかしさを感じます。
51	子どもが皆貧富の差がなく教育受けられる社会、虐待等のフォロー（親も子も）等、特に期待したい。
52	コロナ禍で、子どもも貧困の差がでていとおもいます。必要な方に十分いきわたる補助金制度にして欲しい
53	子どもへの貧富の差 親からの暴力やひどい扱い、放置、ネグレクト、無関心への家庭へ聞くだけでなく、一歩ふみ込んでほしい
54	貧富の差がなく 平等に子ども達が笑顔ですごせるよう支援等期待します。
55	最近貧困からの虐待（ネグレクト）が増えているように感じます。その子ども達への対策に取り組んで頂けたら
56	子供の貧困問題への取り組み
57	・貧困対策。最低限の暮らしのみではなく、生活が十分できるように。子どもの逃げ道などがあると良い。

⑥子どもの育つ環境に関すること

家庭の状況に関わらず、子どもが平等に教育を受けることができ、生活していくことのできる環境を整えて欲しいとの意見が多く寄せられました。また、「②子どもに対する取組に関すること」における子どもの居場所ともつながりますが、子どもが遊ぶことのできる公園の整備など、ハード面に関する意見も見られます。

NO	意見（原文のまま）
1	子どもたちが平等に学習やあそびに参加できるようになったらいいと思う。やはり裕福な家庭が教育が充実しているのでその差が悲しい時がある。
2	どの子も平等に教育を受けられる環境整備
3	安心して教育を受け生活できる環境整備
4	生活環境が充分でない子供がたくさんいる。教育現場ではできる事が限られているので手厚い支援をお願いしたいです。
5	家庭環境に関わらず、全ての子どもが平等に教育を受け、学業支援（お金等）のサポートをしてほしい。また、すぐに支給できるように迅速な対応が望ましい。
6	親の収入の違いや立場で、子どもの生き方、学びの環境が奪われることがないようにしてほしい。（政策面から）
7	子どもが自ら選択して過ごす場所や機会をつくれる環境（様々な体験や経験をできる場所や遊んだり学んだりできる場所等）を充実させていくこと。
8	・育っている家庭の状況によって子供の育ち方に大きな差が生じることは悲しいことです。その差をなるべく小さくする為に現在取り組まれている支援をもっと深めていくことが大切だと思います。
9	経済的にきびしい子どもの責任がないところで、学ぶ機会を奪わないような教育制度を確立してほしい。
10	育つ権利がそれぞれの環境によって、子ども一人ひとり格差が大きいと感じます。親を選んで生まれてくるわけではない事を考えると、できるだけ平等に育つ環境作りを進めて頂きたいと感じます。
11	・こどもの利益、個性や特徴、安全を守り、安心できる場であるために補助の支援の充実
12	子育てしやすい環境を十分に整える事、親や社会全体が時間や心に余裕がもたらされるようなワークライフバランスの整った生きやすい思いやりや優しさ溢れる社会づくりをお願いします。人は自分が幸せでない人と人にやさしく接してあげられないので、地域みんなにあなたかい手が差し伸べられみんなが幸せを感じられる社会を実現してください。
13	子どもの権利は、子どもの問題とともに大人の問題。親、保護者や保育士や教職員、子どもに関わる人の権利や地位の向上の条件整備を期待します。
14	・家庭環境や障害の有無、程度にかかわらず、すべての子どもが保育、療育、教育を受けられることができるようにサポートの継続を期待する。
15	子ども成長にとって環境はとても大きく影響するものと思っています。子どもたちを大切に思う社会の雰囲気、また、親が十分に子にかかわる時間を作れるような社会、子どもが自尊心を高めることができ、のびのびと成長できるような・・・漠然としていますそんな社会を

	目指してもらえたらなと思います。
16	・どの子どもも学ぶ機会や食事、生活環境などが守られるように。
17	どの子どもも安心して日常生活を送り、夢の実現に向けて努力することができるよう、子ども自身や保護者も含めた生活支援等のサポートを期待している。
18	子どもたちが、育つ環境の整備
19	家族単位で楽しめるイベントや、みんなで楽しむことに対する広告等での雰囲気づくり
20	困らない生活をしっかり過ごせるように配慮していただけるといいです。
21	子どもが保護者のもとで、経済的状況にかかわらず平等に育つように諸制度で守っていくこと。
22	子どもたちの育ちについて福祉・医療・教育・コミュニティーが連携して安心して暮らしていける社会作り
23	保護者や地域の人々の交流 地域コミュニティーの形成
24	子ども達がのびのびと過ごし、生きていくことのできる地域を作ること。子育てを一部の人間が頑張るのではなく、高齢者から子どもまで、様々な世代の人間がともにかかわりあえるコミュニティーを構築できるといいと思う。ただの役所仕事ではなく、市役所の方々が地域のことを共に考えられる人材をきちんと育ててほしい。
25	子どもが育ちやすい環境作り
26	子ども達が困った時に助けを求める場所があることを知っていて助けを求めやすい環境にある。 子ども達がやりたいと思うことに対して平等に機会を与えられる社会。
27	子どもの権利をふまえて、子どもが生き生きと生活できる環境をつくってほしい。ひとりひとりの違いを認めて、ひとりひとりの学ぶ場を保障してほしい。経済的支援をしていただきたいと接に願っています。相談できる場所をもっと増やしていただきたい。
28	様々な環境の児童がいるので、学習の支援や生活のサポート等、引き続きよろしく願います。
29	・大人社会がしっかりお手本を見せることのできる社会になること。 ・思いやりのあふれる社会。
30	平等に尊重できる社会を望みます
31	どの子どももみんな、幸せな日々が過ごせたらいいと思う。
施設等	子どもたちが、安心・安全に遊びこめる環境の整備。(鹿児島市は、子どもを中心に考えられた空間や場所がとても少ないと感じているため)
施設等	子どもが過ごす場所の整備、施設の充実 人材の育成
施設等	子どもが安全、安心して遊べる公共施設(室内、室外)の設置を増やして頂きたい。
施設等	・公園の整備(遊具・トイレ(未だ和式のためのトイレが多い。)) ・利用できる場所(こども食堂等)、皆んなで食べる事で好き嫌いが無くなり、楽しめる時間となる。(放課後等デイサービスの児童が利用できる場所の提示)

施設等	子どもの権利を尊重する社会というところでは、公園で子どもたちが自由に遊べる場所になっていない所があると感じます。条例等によって子どもたちの遊びが制限されているので改善してほしいです。
施設等	子供の居場所づくりの大切さを感じます。学校が終わってからの児童クラブなどの強化、公園で安心して遊べる場所など子供同士が仲良くコミュニケーションをとれる場所の設置を期待します。
施設等	・子ども一人ひとりが、健康で安全に過ごせる環境を作ってほしい。安心して色々な体験が出来るように、子育てひろばや保育施設などを増やしてほしい。
施設等	権利の尊重とは、少しちがうかもしれませんが、鹿児島にもっと子どもがわくわくするような楽しめる施設などできるといいと思います。
施設等	通学路の安全確保
施設等	・妊婦、子ども連れの人が安心・不便なく外出できる町づくり
施設等	・子育て支援センターの充実 ・安心して遊べる公園をもっと増やしてほしい
施設等	子どもが教育を受けるすべての場所 機会が常に 安心 安全 であること
施設等	このところのコロナ禍の影響により、貧困家庭も増えてるとよく聞きます。子ども食堂の利用だったり、子ども達が安心して食事が取れ安心して教育が受けられるよう、手当だったり、施設だったりあったらと思います。
施設等	就学前の子どもであれば、保育園・幼稚園の整備。通園までの交通手段の整備。

⑦保育所・児童クラブ等に関すること

児童クラブや保育所等に関する意見が多く寄せられました。共通点として、子どもの育ちに関わる関係団体・職員への支援を行うことが、子どもの健やかな育ちにつながるという視点で、支援員や保育士の人員不足、待遇改善、質の向上などを求める意見が見られます。

NO	意見（原文のまま）
児クラ	児童クラブ支援員不足なので、時給をあげたらどうでしょう→130万内扶養内で働く人多いので150～160万で社会保険扶養内になるよう。理想です。市役所から国へ声をあげて下さい。→支援員の質の向上にもつながると思います。→子ども権利も尊重されやすい。
児クラ	学童保育施設の整備、職員の待遇の向上
児クラ	支援員と保護者のトラブルがあった時、積極的な保護者はクラブを飛びこえてすぐに市へクレームを出す方もいます。保護者からのクレームにはすごく立場が弱くなるような市の対応を感じるがありました。
児クラ	現在の民間児童クラブに対する運営補助金の額では、実際の運営に必要な費用に対し大きく不足しており、運営母体に大きな負担を強いている状況である。 放課後児童クラブの利用が必要な児童が一定数いる中で、現状のままでは事業を実施できる民間事業者が減少する可能性があるため、運営補助金の見直しを実施願いたい。
児クラ	・児童クラブ支援員の声をアンケート等でもっと吸い上げて欲しい

児クラ	児童クラブが過ごしやすい場である事。支援員の人員配置の充実、児童クラブの環境（余裕のある児童受入で過ごす室内、外で遊ぶスペース）の確保。
児クラ	子どもの意見、話を聞ける時間が作れるような場所 学童でも子どもにもっと接する時間をもっと増やしたいので事務処理などをなくしてほしいです
児クラ	クラブ職員が働きやすい環境整備をお願いします。子どもたちが過ごしやすいクラブの環境整備をお願いします。
児クラ	児童クラブの支援員の待遇についてももう少し考えてほしい。支援員の募集が難しいこともあり、社会保険をつけたり、給与保障等（生活できる程度）の条件をそろえて、若い方の確保ができやすいようにしてほしいと思います。
児クラ	児童クラブの支援員の保証をしっかりともらいたい。パートだけでなく、正規としてほしい。
児クラ	児童クラブの環境の充実。なるべく小学校の敷地内にして欲しい。
児クラ	児童クラブの現場の様子を知ってほしい。子ども達の権利を尊重するために支援を必要とする児童の受け入れに対しての、何かとりきめがあっていいのではないかと思います。その本人、又、その他の児童の事をよく考えて、受け入れを考えることも大事かと思います。
児クラ	机上論ではなく、現場の中に入って 子ども達、先生、支援員の立場を理解してほしい
児クラ	児童クラブで受け入れている発達障害の子供達を一時他の子供から離さないといけない場合のスペースをしっかりと作って欲しい 他の子とのトラブルで攻撃を受ける事から守る為に必要
児クラ	子どもを見守る中で、支援員の充実（すべての支援員が子どもに関わる中で必要な研修）支援員を守る保障（支援員資格（認定資格）を取得後優遇のある職場への転職防ぐ為）することで、支援員を、しっかり確保し、子ども達を、見守ることができる
児クラ	児童クラブ等の増設と同時に支援委員さんに対する 人員の確保と待遇
児クラ	待機児童も増えている為、生活の場である児童クラブの施設を増やし、子どもが安心して過ごせる場の提供。
児クラ	園庭があるにもかかわらず塀がないばかりに、遊びが限られている。サッカーやバスケット等、習い事で子どもが得た知識・技術など子ども同士で情報交換しているか、実際スタッフがボールが園外へ出ることを恐れて、サッカーのそぶりをすることすら、子どもに禁じている現状がある。せめて、子どもが生き生きと児童クラブ内ですごせるような環境を整えてやりたい、思いながら予算が組めない。 保護者以外の人ともかかわりを持ち、社会生活とのつながりを広げていく場としての機能を充実させられるように地域の人とのかかわりの機会を提供すること。 子どもが自分の関心に応じて得た情報を、遊びに取り入れやすいよう設定を工夫できるように遊びの場を充実させること。 以上を達成するための金銭的な支援および人的な支援が必要であると考えます。
児クラ	・児童クラブでは、子どもの家庭の状況がよく見えることがある。しかし、学校関係には、そ

	の様子が見えていなかったり、情報を提示しても、一方通行（回答がない）の時がある。
児クラ	・放課後児童クラブにおいて長期休日のみの利用も受け入れてほしい。
保育園	・幼・保育園の充実
保育園	・親が働ける様に困っている家庭の乳幼児が近くの保育園へ入れるように配慮していただきたい
保育園	待機児童をなくすための施設の拡充、保育士不足の解消
保育園	子どもが教育を安心して受けられるために、保育士等を確保するための補助金
保育園	保育園や幼稚園に行かせたくても条件が揃わない、仕事とのタイミングが合わない、家庭の事情などで入れない時は、認可外が必要だが、企業型などが増え、認可外の継続が厳しい状況なので、認可外へも助成がもっと手厚くなってほしい。
保育園	保育園の設備充実
保育園	乳幼児時期に様々な経験をすることは非常に大切なことです。子どもの権利を身近で支える保育士等が鹿児島市では不足の傾向にあります。不足とならない効果的な対策を期待します。
保育園	保護者の都合によって子どもが園に預けられっぱなしの家庭もある。朝の 7 時から延長保育まで、月曜日から土曜日まで。親の就業時間以上に集団生活の中で過ごす子供達が心身ともに健康でいられるのかと思います。保護者が仕事が休みの時はゆっくり家庭で過ごせるように行政から働きかけて欲しい。
保育園	保育現場では常に保育士不足に悩まされており、求人広告費用を費やして随時募集しております。これは、認可、認可外同様で、最近、条件のよい企業型託児所への人材が流れているので、とても最重要課題です。 市役所からの人材派遣や、例えば、研修をうければ保育士にカウントしてもよいなどあったらありがたい。
保育園	保育施設への補助の拡充 保育士等の給与改善
保育園	・一人ひとりの子どもに手厚く対応し、心の豊かさを育むためにも、保育士定数の見直しをしてほしい。そうする事で、一人ひとりにじっくりと関わり、より子どもを大切にしたい環境を作れる。鹿児島市の保育士定数を検討してほしい。1歳と2歳の定数が同じ。成長過程は、決して同じではない。
保育園	子育ては乳幼児期に親との関わりが大きく左右することを深く理解し、待機児童を減らすことのみで対応しないこと。 止むを得ない家庭は、大きな支援を必要とする。その見きわめをしっかりと定めること。
保育園	行政は認可園を優先する為、年度の途中でも転園を勧める。子どもの気持ちは無視されたまま退園させられる事は避けたい。 保護者が迷うのは、個人経営の認可外が認可に劣ると思うからではないか。 役所が窓口で認可へ入所案内から入所までの一連の手続きをしている事も一因だと思う。 個人経営の認可外を認証水準に引き上げるか小規模保育所の条例化を期待する。
保育園	子どもは整った環境で育成していきたいですが、このコロナ禍で狭い保育室にすし詰め状態で活動していましたので、心苦しく、感染を非常に心配しました。部屋の広さ、人員の数はぜひ改

	善してほしい。
保育園	・ 保育所の職員の待遇改善 ・ 待機児童の改善
その他	大きな施設を作る事より、父、母親の利用しやすい地域子育て支援センター「いっぺこっぺ」などに力を向けてほしい。子育ての母親に関わる事が多い中、やはり地域の施設が相談しやすく利用している人が多い。
その他	・ 子育ての支援に対して充実した環境を作ること ・ 支援センター、支援ルームの充実
その他	子育てサロンの運営は主として乳幼児が対象なので、取り入れるとすれば親の意見になる。核家族の増加で祖父母の助けを借りられないでワンオペで子育てをしている母親もたくさんいる。その親たちを孤立させずに子育てを共有できるスペースであったり支援を提供することも大切だと思う。現在も子育て支援センターや子育て地域包括支援員の方々の活動はとても頼りになっていると思う。今後もさらなる活動をお願いしたい。
その他	データや表面上の数字だけで事業所の取り組みを判断するのではなく、実際の取り組みや内容を加味して、定員等の対応を柔軟に行ってほしい。
その他	・ 子どもの一人ひとりの意見を聞いてあげられる環境を整えるために、受け持ち定数の改善をお願いしたい。
その他	教職員・保育士等子供たちの教育に係る人間の質の向上に向けての努力
その他	・ 保育所や学校などが地域と接点を持ち、学ぶことが出来るように環境を整える事。
その他	子供に関わる大人の人達のサポートをお願いします
その他	子どもに関する職種に対しての様々な支援
その他	子どもの権利を尊重するために、その子どもたちに教育・保育を実践する職員がイキイキと働き、心身ともに余裕を持つことができるような施策をとって欲しいと思います。
その他	子供を支援する諸団体への人的及び財政支援
その他	・ 子どもの権利を尊重する分野などに特化した人材育成に対してのバックアップをお願いしたい。
その他	認可保育園、企業主導型保育園、発達支援事業所など、施設数はふえていますが、正しい保育や療育が提供されるよう、市はしっかり指導及び監督をしてほしい。同業種事業所の内容や実態などみみにすると、一生懸命頑張っている自分たちが、残念になる。コロナで難しいと思うが、市には実態把握を望む。

⑧障害・発達支援関係について

子どもの発達の関係では、グレーゾーンの子どもに対する支援の充実を求める意見や、保護者が相談しやすいよう、情報提供の在り方などに対する意見が寄せられました。

NO	意見（原文のまま）
1	取りこぼしになりがちなグレーの生活を送っている子供にも光を当てる行政をお願いします。
2	児童発達の遅れ等で、こども自身が生きづらさを感じたり、将来的に大きな悩みにつながる可

	能性もある。発達段階での訓練で、先々の道筋をつけてあげることや社会に順応できる力を養うことが大切である。児童発達新への取組みが今以上に重要となる。
3	発達障害の子ども、又、グレーゾーンの子どもの支援できる施設や、専門指導員を増やし、早い段階から訓練を受けられるようにしてほしい。保護者は、どこに相談していいかわからない。SNS、メディアなど宣伝してほしい。
4	問3の権利条約にある、教育を受けることについて、障害の有無にかかわらず、全ての子どもたちに「通学できる」という希望を見出してほしい。
5	ネット社会になり、みんなが障害に対しての知識を得る機会が増えてはいるが、色々な情報が多すぎて、逆に分かりにくくなっているように感じる。情報に振り回される場合もある。字面で子どものことを判断せず、その子自身をわかってあげられる環境をつくってほしいです。
6	鹿児島市は他の県に比べ、療育関連事業は力を入れていると思います。頑張ってもらいたいものです。
7	当事業所は重心型事業所であり、重心のお子さん、医療的ケアのお子さんを対象としています。まだまだ現場はインクルージブに遠い状況であると感じています。(新型コロナウイルス感染症の影響も大きいですが) 行政でも各々委員会を設置して改善策を模索していると思われませんが、それが実行できるようなイニシアチブを取って頂けるとありがたいです。
8	支援が必要な子どもに必要な支援が行き届くようにしていただければと思います。 このような観点で障害福祉サービスの提供状況を見ると、里親制度の利用や養護施設に入所している子どもたちの中にはサービス提供までのプロセスで滞り起こりやすくなっていると考えます。 こども達がスムーズな発達支援を享受できる仕組みを望みます。
9	発達障害のある親（家庭）支援と子ども支援
10	障害者保育を必要としている保護者が困って預け先がないと私共に相談されるケースが多い。障害認定される前のグレーゾーンの子どもの預け先、又は相談窓口など細かいケアをしていただきたいと思う。
11	・障害児（発達障害（心身の発達）集団への不適応児、身体的な障害児）保護者への支援
12	子育てガイドは充実していますが、情報量が多すぎて、ほしい情報の詳しいところがわかりません。たとえば、特別支援のサービス（放課後デイサービス）を申し込むべきかと考える保護者に相談するところ、それからの流れなどがわかりやすく表示されるパンフレットがあるといいなと思います。地域ごとの事業所の紹介（特徴）定員なども一緒にあるといいなと思います。QRコードからスムーズに入っていけると、相談しやすいです。

⑨関係機関との連携について

子どもや家庭の支援について、関係機関による連携を望む意見が多く寄せられました。この場合の連携は、外部機関同士だけでなく、市の内部機関同士での連携や情報共有も大切です。また、関係機関同士がつながるための旗振り役を、市に期待する意見も見られます。

NO	意見（原文のまま）
1	連携が一番だと思うので、いつでも受けてくださる窓口が必要かと思います。
2	子どもの人権が確実に守られるために、学校と行政の連携を密にすることが不可欠であるが、行政間（市⇒県、市⇒他課どうし）のつながりも大切にしてほしい。
3	課や係で、それぞれの分担された業務を進めるだけでなく、子どもに関わる関わる方々が連携して、課題を解決する姿勢で協力していただきたい。
4	関係機関の柔軟かつ迅速な対応。課を超えた迅速かつ効果的な連携
5	保育所側が情報提供することはあるが、提供先からの情報共有が無いため、連携が図りづらいと感じるので何か手立てをお願いします。
6	関係機関との連携の強化
7	子どもに関わる全ての専門職（保育所・幼稚園・学校・児童発達支援事業所・施設・児相など）との垣根を越えた情報共有と連携強化のための役割。
8	関係各所との連携と情報共有の機会を増やすこと 事案に対して関係各所と連携してより深く介入できるようにすること
9	本人中心の統一された支援に繋がるための、関係機関との連携構図や規約、これまでの事例、モデル等の情報が欲しい。
10	関係機関との連携 迅速な対応
11	市民や学校から相談があった場合には、より早急に関係機関と連携し改善できる体制を整えていただきたい。
12	学校現場との連携
13	関係機関の連携を確かなものにし、福祉の観点で取りこぼされる児童・生徒が内容にすること。
14	今、生きる権利、育つ権利、守られる権利が制定されていながら、子供達にとっては、生きにくい世の中になってきているように感じます。 もっと、役所や他の機関が連携をとって、子供たちを守っていけるようにしてもらいたいものです。
15	・各地域の情報収集・情報提供 ・各施設や各機関との密接な関り
16	条例制定だけでなく、条例の策定・審議を通して、他の施策や制度等との効果的な連動・連携についても検討していただきたい。
17	すべての子どもが幸福に暮らせるまちづくりを進めてほしい。 家族はもとより、学校・地域が連携しながら、また、それぞれが責任を持ち子どもに接しけるような指針を示してほしい。 各局各部署間の連携が必要。
18	保育幼稚園課、こども福祉課、障害福祉課、保健センター、（児相）等の横のつながりが、もっと円滑にできると良い。情報がバラバラで収約がなされにくい印象がある。
19	要支援児童および家庭等について、各機関との情報共有、連携（特に入所時）

20	行政が、学校などにつながっていて情報を得る。また、その情報を得たら、子どもの為に、動く。
21	市役所と保育所・幼稚園・学校との密な情報共有、認可外保育施設であっても、定期的にこのようなアンケートを取る機会を作り、園では深く入りこめない家庭事情などの相談・共有の場が作れるとよいと思う。
22	子どもの日常生活、最低限の生活の保証は基本行政で担保してほしい。貧困 保育教育 虐待は特に保育園幼稚園 学校と病院 施設 保健所 警察 相談所が個々に自由に横で繋がっていき、伝え合える場になって欲しい。個人情報の名の下にお互いの自己保身を優先せず、一番大事が抜け落ちることが無いように 望みます。
23	子どもは1人では生きられません。大人の力添えがあって、心豊かに笑顔で生活できます。それにはまず、大人の世界が心豊かであることだと思います。そのためには市役所など公の機関が協力されて、皆が充実した家庭生活が送れるよう考慮して頂きたいと思います。
24	学校などの教育機関との一層の連携強化
25	保育所や教育機関と市役所の連携が図れること。
26	・家庭環境への積極的なかかわりと連携
27	関係機関との連携
28	SSW を含む学校との連携強化
29	条例を制定することは大事だと思います。これが生活の中で活かされ幸せな社会となる様リーダーシップを取っていただきたいと思います。あいご会や PTA 等との連携が進むと良いですね
30	・子育て家庭における対応窓口の一本化やワンストップ化。連携しやすくなる事で、あらゆる対応にもスピーディーに取りこぼすことなく丁寧な対応が出来るのではないかな。
31	困っている人を取りこぼさない。その為には縦割りを無くして地域、保健所、学校など関係機関と連携して困っている人をデータベース化し共通認識をして頂きたい。
32	情報を発信し、共有できるようにしたい。
33	乳幼児健診などの公的な全児童対策と、児童発達支援センターなどの連携による早期療育支援体制構築による安心した子育て環境に向けて、行政が旗振り役を担うこと。
34	子どもと関わる団体（学校・児童クラブなど）は、多岐にわたっており、それぞれ職場で必要な学ぶことの内容がちがいます。市は、それぞれが連携をとれるように結びつける役割をしていただきたいと思います。研修するチャンスがあれば参加したいです。
35	・子育てをしている親や、保育施設等の現場の声を直接聞いて、良い社会となるようにしてほしい。 ・現場の意見を大事にしてほしい。
36	まわりの投稿、意見をしっかり聞いて欲しい。 決まり事だけで色んな事を進めないでその時その時にあった解決策などを臨機応変に。
37	各地区の担当の人達とこまめに意見交換・情報とかを聞きとり入れて行ってほしい。
38	子どもに関わる人たちの意見。
39	個人情報もありなかなか支援の必要な方を把握できない。支援の必要な家庭と地域の私達と

	の間を上手につなげてほしいと思います。
40	子どもの育ちは、保育園、幼稚園などだけにゆだねられては、現場が疲弊してしまう。家庭に対する専門的機関との連携等も重視してほしい。
41	・福祉課や児童相談所等との密な連携による子供の生活環境の把握。
42	福祉施設、児童養護施設、民生員さんなど、行政の方と福祉事業所がもっと密に連携を取り、情報共有してほしいです。
43	問題のある家庭において把握できている部分だけでもいいので、ある程度の情報の提供をしてほしい。

⑩市役所等の体制等について

「⑦保育所・児童クラブ等に関すること」ともつながりますが、子どもに対する支援を充実させるためにも、市の子ども関係部署の人員や予算措置などの充実を望む意見が寄せられました。

NO	意見（原文のまま）
1	子どもにかかわることは財政をもっと増やすべきだと思う。少人数学級で細やかな支援をしてほしい。
2	子どもに関わる人材の確保のための予算計上
3	未来ある子どもたちに借金を残さない財政管理。子どもの思いなどを制限することのない、途切れのない支援。
4	一人ひとりの子どもが、楽しく充実した日々を送るための環境整備、スタッフの充実、そのための予算措置をしてほしい。 そのために、子どもを育てる現場の職員の声を十分聞き取ってほしい。
5	子どもが育ちやすい環境づくりのため、政府が考えている子ども庁のような部署を作る。
6	子どもを支援する部署は、人員を増やして十分に手厚く支援できる鹿児島市であって欲しいと思います。
7	福祉関係部局の予算や人員の強化
8	困っている子どもとその家庭を支えるためには、こども福祉課や児童相談所の担当の方が継続して関わっていくことが大事ではないでしょうか。（職員の移動で担当が変わるたびに引き継ぎがうまくいっていないと感じる。）
9	行政関係者の専門職員が効果的に動いていない（人数不足、力量不足）ので、もっと充実させてほしい。
10	子育てに関する悩みや子供の生活を守るための相談を、もっと気軽にできるような窓口を力を入れて欲しい。何かあった時はこの人に相談すれば力になってくれるような職員がいればいいのだけど、異動などで毎回違う方の対応で、深いところまでお話しできない
11	真に子どもの立場に立つ、将来の姿を見極め 公の立場を優先せず 個々の子どもに向き合う 対応する ことができるかどうか と思います。 子どもの権利を守る気概を持った職員や、上司によって、決まる。 のではと思います。

1 2	児童相談所、学校、福祉課、保護課、子供福祉課、教育委員会などそれぞれ専門があるかとは思いますが、困っているお子さんの相談をまず受けてくれる窓口の設置をお願いしたい。こちらではない、という回答をグルグル回っても結局担当がないということが多々あり、今必要な支援に結びつかないことがあります。
1 3	ワンストップ型の相談機関を作ること。
1 4	子どもにかかわる仕事をしている方々はもちろんですが、すべての職員が、知識を持ち、共通の定義、認識を持ち、他人事にせず、条例を作ってそれでおしまいにしてほしいです。人員不足や専門的な知識のない認識不足で、大切な子どもたちの心や命が失われることがないようにして欲しいです。
1 5	・行政関係又は、行政に所属していない第三者の専門的知識（子どもの発達等）のある立場の方を中心に、本来の子どものことを考えた仕組み作りをしていただけると今までとまた違う角度からの意見があることを期待しています。
1 6	子どもが置かれている家庭、学校、社会環境が大きく変化している中で多様で迅速な対応ができる専門職を置いて欲しい。子どもや子どもに関わる私達を指導支援してもらいたい。

⑪その他市役所における取組に関すること

その他の意見としては、こども医療費助成制度に関する意見や、市民から相談等が合った場合の職員の態度・対応に関する意見、子どもの最善の利益を踏まえた子ども支援を望む意見などが寄せられました。

NO	意見（原文のまま）
医療	医療の拡充。15才での1カ月上限2,000円を18才までにしていただけるといいかな。
医療	幼児の発達に応じた医療体制、検診などの充実
医療	医療費一部負担金をなくす。（全ての子ども対象）小、中、学費、給食費の無償化
医療	・子どもの医療費の免除
対応	保護者が相談におとずれた際、子どもの為に親身になって話に耳を傾け、動いてほしい
対応	子どもたちが直接市役所と関わることはほぼないでしょう。そのため、子どもを支える大人にとって、市役所が開かれた場所であることが大切だと思います。事務手続きのつながりではなく、市役所という居場所があることにより、人がつながり、子どもたちを含めた市民にとって暮らしを支える場になって欲しいと思います。
対応	それぞれの生活環境の中で困り感のある子供たちは多く、多岐に渡っている。様々な手続きが必要ではあるが、やはりスピード感が最も重要ではないかと思う。
対応	教育や福祉サービスの向上。もっとオープンに個々に対応できる柔軟さがあればと思います。
対応	様々なケースがあると思うので、型にはまらず臨機応変に動いて欲しい。
対応	早急な事実確認
対応	・何事も早期発見
対応	困っている方に気付く努力
対応	意見の集約と迅速な対応。

対応	・苦情があったらその人を優先じゃなく全体的に答えを出してほしい。
その他	・子どもにとって一番いいことは何か？ということのをこれからも考え助けを必要とする子どもとその親の支援に期待したい。
その他	子どもの権利を尊重する社会が今迄と大きく変わる点は、当り前の権利を親も一緒になって認め合える事だと思いますので、市役所というより行政の視点（目線）を変えて一つ一つを見直していくことがあると思います。子どものわがままを助長する事ではない事が基本になると思います。
その他	・子どもへの最善の利益への期待
その他	子ども達の最善の利益を考えた社会（町）作りに期待します。
その他	子どもの最善の利益が一番になるよう子育て支援をお願いします。
その他	子どもが主役の視点がぶれないことを願います。
その他	本当に意味で子どもを尊重することを望みます。
その他	「教育の充実」が最も大事な事だと思います。次が「生きること」を支援することでしょう。
その他	もっと権利を尊重する方に目を向けて欲しいです
その他	こどもたちのためにがんばってください。
その他	市の取り組みや国内の事例の積極的な情報提供
その他	子どもの権利を尊重するということは、親・大人の責任、義務を果たすことだと思う。行政（市役所）は、細かく政策を練って実施されていると思うが、なかなか一部の大人や親に伝わっていない。町内会、愛護、地域活動が根本だと思うが、加入率の低下、地域のマンパワー不足～痛感している。 ※市役所職員、公務員世帯が町内会に未加入のところが目立ってきている。
その他	社会全体で子育て、子どもたちの成長を支援できるように、施設の充実だったり、条約を制定してほしい。
その他	子どもの権利に関する様々な国の政策を、コピーして施行するだけでなく、地域実情に合わせた独自の政策等も構築してほしい。 国の政策に加えて鹿児島市はこうします。的な。
その他	様々な面での、手厚いサービス、保証。
その他	事業所に関係なく平等な対応をして欲しい。
その他	今後も今以上に児童福祉の充実を期待します。
その他	学校、家庭、地域社会、行政が子育てについてどのような役割を果たすのか、始良市が作っている「子育て条例」を作り明確化する。
その他	調査するだけにとどまらず、行政としての対応をお願いします。
その他	市役所に期待しても無駄だろうと思っています
その他	大人が心に余裕を持てるような取り組み。こころに余裕があれば、子どもにあたり冷遇するような態度もなくなるだろうし、もっと優しく接することができると思う。その取り組みは大人に対する人権教育もそうですが、お金や時間に余裕を持てるような取り組みも必要です。市役所だけでは無理でしょうね。国全体で取り組まなければ。
その他	市議会議員の半数を女性にする。他の市町村よりも率先してやってほしい。 男性の育休取得率を上げる

	<p>↑ 市役所職員だけということではないです。鹿児島市にある企業ということ 子育てを女性だけの役割にしない 男性女性が知恵を出しあって何ごととも決めていく</p>
その他	<p>色々な取り組みを考え、企画されているのは理解し、有難いことです。市役所だけではない ですが、転勤や転属などで後任者への事案内容の引き継ぎが、しっかりなされているか？解 決を見ないまま中途半端になってしまう場合が多々あるように感じます。仕事も多く難しい こともあるでしょうが、子どもは一日一日が成長や変化が大きく重要ですので、早期の対応 のためにご努力を切に願います。</p>
その他	<p>集団活動をするうえで、どうしても強制して皆と同じ行動を要求することがある集団生活で は、有り得ることだがそのバランスのとりかたなどの研修があれば良いと思う</p>

問7 子どもが安心して自分らしく生き、社会参加しながら成長していくには、どのようなことが大切だと思いますか。意見があれば教えてください。

子どもの社会参加について、12の視点から意見が寄せられました。

①子どもが意見を伝えることができる環境や主体的取組について

子どもが主体的に考え、自分の意見を言うことのできる環境を望む声が多く寄せられました。児童の権利に関する条約は第12条で子どもの意見表明権についても保障しており、様々な場面で、子どもの意見を尊重できる社会にしていくことが望まれます。

NO	意見（原文のまま）
1	子どもが積極的に意見を言える機会をつくり、相談窓口も、もっとしやすい窓口をつくってほしいと思います。
2	子どもの声をちゃんと聞いて、安心してすごせるように場所をつくり子どもと共にいろいろなことを一緒に考えていけるように学校、地域、家庭で見守り続けること
3	子どもの持つ力を信頼し、保育園、幼稚園、学校等で子どもたち自身が決める機会をつくる。
4	権利条約の4本の柱の内、子ども達が、「育つ権利」、「参加できる権利」の保障について考えてみると、一部のスポーツ活動や文化活動について素晴らしい実績を上げている例は枚挙にいとまはありません。しかし、例えば、スポーツクラブへの参加を望んだのが、子どもの意志であったのか。その運営に、「子ども達の自由な意見」が尊重されているかと問われると若干の疑問の余地があるように考えます。そこで、スポーツ活動や文化活動などで「子ども達の自由な意見」を取り入れ、活動の活性化に成功した事例などがあれば、その成功事例を広く紹介する事などを提案致します。このテーマは大きく私たち大人は、久しくこの難問を解く鍵を試行錯誤しながら探し続けているのだと思います。子ども達が、スポーツであれ、芸術活動であれ、何かを通して自分自身に肯定感を抱いて成長することこそが「社会参加の入り口、一里塚」だと思うのですが如何でしょう。
5	子どもたちの意見を聴取する場づくりや、家庭や学校以外に地域で子どもたちを育てていく体制づくり
6	子どもが自分の意志で選択して行動できることが大切だと思います。その中で、悩んだりふさわしくない行動を選択してしまったりした場合に、正しいと思われる方向に導たり、助言をしたりできる人が近くで寄り添ってあげられるような環境づくりをしっかりとっていくことが大切だと思います。
7	・子どもが意見しやすいよう、オープンな社会にしていく。
8	・家にひきこもることのないよう、常々人前に出てゆき、自身の意志をはっきり云える子どもに育てること。
9	子どもが自分の思っている事、考えが尊重される環境の構築又思っても発言できない子どもへの対応、機会の構築。
10	○一定の年齢（年中、年長）になったら子供の意見を聞き入れる。
11	いろいろな活動を大人が中心になっても必ず子ども達と一緒にすることが大切だと思います。

1 2	子どもが主体的に考え、行動できる環境づくり。 すべての大人（市民）が、子どもが幸福に暮らせるまちづくりを行えるように支援をする。
1 3	・子どもの年齢に応じた生長にしたがって、将来の目標を家族でよく話し合い達成できるように支援してあげる。
1 4	子どもたちが発する意見を認める大人が増えることが大切だと思います。今の子どもたちは、自分の意見を物おじせず発表する印象がありますが、案外はっきりしたものの言い方を する子は少ないです。批判されたり、非難されるのをとても怖れているように感じます。
1 5	子供達が参加できる事や話しが出来る工夫し子供たちの顔を見ながら遊んだり学んだり（勉強以外）の機会が多くあったら良いと思います
1 6	自分の意見表明権が脅かされることなく、自由に発言ができること
1 7	どんな時も子どもが自分のことばで話すのを聞く（待つ） ひとりの人格者と思って対応する（接する）
1 8	昔、私の子どもの頃「子ども会」があり、小1～中3の子どもたちの集会在地域であり、中3の子たちを中心に年上の子が年下の子の世話をしたり、みんなで夏休みの行事を決め、運営をし、親たちは見守っていて、その予算を集金したりしてくれていました。子どもたちが自立する「心」や、権利を知ること、それを実行できる場があって、はじめて成長できるのでは…と思う
1 9	お楽しみ会など、子ども達自身で話し合い、計画を立て実践させています。そのような、子どもの会議では民主的なやり方で、会が進行できるようにサポートしたいと、考えていますが、研修の必要性を感じます。 当クラブでは、移動図書が来ます。子ども達が外部の大人と接する唯一の機会です。本を借りることを通して、図書館の司書の役割を子どもの伝え、子ども達自身が興味を持っている分野を紹介してもらったり実際に何冊か持って来てもらったり、本の予約をしたり、すべて、子ども達自身が、自分の欲求を大人の人に対しても、ちゅうちょなく伝えることができるようになる機会ととらえてサポートしています。 子ども達が予想したり、確認したりする経験を通して、自分の周りにあるものとのかかわりを学んでいくプロセスが重要である。 そのために日常生活で触れる経験が少ないような遊びの内容やかかわりの場の提供が重要である。また、友達の考えに触れることで自分との違いに気がつき、もっとよい考えにしようとする姿を見せるようになることを踏まえて、子どもの集団としての機能を保障することが重要である。自分の意見を発信する場が保障されて、頭ごなしに否定されないことが重要だと考えます。
2 0	自分らしく 私は私を生きていく、自分の意見を言える子
2 1	乳幼児期の、子どもたちが 楽しくなんでも吸収する心を持つ時期に、“子どもたちの考えを聞くこと”、“子どもたちのやりたい！やりたくない…などの判断を待つようにすること”、“たくさんの経験をさせてあげること”が大切で、 そうしたことを保育園でも心がけたいと思っています。
2 2	子どもの意見が、楽に出すことができる環境作りが大切だと思います。

23	・自分の考えを発言できること。
24	・大人の考えだけで子どものことを決めないこと。子供の思いを尊重できるような社会づくりが必要だと思います。また、生活が難しい場合に、国からの援助等は必要だと思うが、食事や学びなど子どもの為に使われるような仕組みを作ってほしい。
25	子ども達に大人の意見や考え方を押し付けるのではなく、子どもの考えを尊重し、一緒に考え、悩み、よりよい方向性を模索したいです。
26	保護者や保育者が子供達の意思を尊重し、過保護になるすぎない様に、自立に繋がる手助けを見守りながらしっかり支えていく事が大切だと思います。
27	保護者を含めた子どもたちに関わる全ての大人に、子どもの気持ちを知る機会があること。必要な支援があればそれを利用し、子どもたち一人ひとりのペースに合わせて成長していけるような環境を整えること。支援を行う側への補助金。
28	子どもの目線に立ち、気持ちを尊重し、常に耳を傾け、受け止めること
29	子どものありのままの姿を受け止め、その声に耳を傾け、感情に寄り添い、子どもの最善の利益を一緒に考えられる大人の協働と、共に成長する姿。
30	子供たちの意見が尊重される場・機会を多くの子供たちが知り、発信できるようにし、受け入れる大人も子供の人権を尊重し、受け入れる姿勢をもち続けることが大切だと考える。
31	自分の意見を感じたままに発言したり、表現したりすることが自分らしさ、自分らしく生きていける柱になってくるのではないかと。また、個人の表現・気持ちを聞き、受け取る側が否定したり、受け入れなかったり、孤立させるようなことがないような環境づくりも大切になってくるのではないかと。もし、心が折れるような機会に直面した場合に、頼れる・支えになってくれる場所もあるとなおよいのではないかと。思う。
32	子どもの主体性を大切に、子どもの言動・行動を温かく受け止め、見守ることが大切だと思います。そうすることによって自然と子ども達が安心して自分らしく生きていける環境を築け、成長していけるのではないかと。思います。
33	自分の考えを持ち、他の人に相談しながら主体的・積極的に生きていくような能力・態度を育てる家庭教育、学校教育、地域の子育て体制が必要だと思います。
34	大人社会に経済的・精神的ゆとりがなければ子どもは自分らしくのびのびと成長はできないと思う。 このままデジタル化が進み、人間関係や価値観が多様化すれば、なお子どもの成長は複雑だ。立ち止まる事は不可能だが、せめて子ども達の声に真摯に耳を傾ける事が大切と考える。
35	子どもの主体性、可能性を奪わない環境づくりが大切。 可能性を育むために沢山の経験をさせ、挑戦や失敗の経験をさせながら経験値を上げてあげる
36	子どもが意見を言える雰囲気があること。大人がその意見を真剣に受け止め、反映していくこと。それを繰り返すことが大事だと思う。
37	・子ども達自身が選択をし、意思決定できる環境
38	参加したいと思えるときまで、待つてあげられる環境があればいいなとおもう。
39	子ども一人ひとりの意見をしっかりと聞き個性を大切にすること

40	1人1人の子どもを尊重し、押し付ける社会参加ではなく、子ども自身が自ら参加しようという気持ちを育てていけるように大人が気持ちを汲み取りながら社会全体で見守り育てていけるように大人も成長することが大切だと思います。
41	・子どもの気持ちを汲み取り、大人が受け止めることで自己肯定感を高める事が出来る。
42	子ども達が自ら考え、自ら発信する、そういう場を与える… というような教育、育て方を積極的にするなど
43	・大人からの押しつけではなく、子供たち自身の考えを尊重する

②子どもの社会活動への参加や大人と触れ合う機会・子どもの居場所

子ども同士や異年齢での交流、地域の様々な人との触れ合いや、多様な体験活動が子どもには必要であるとの意見が、多く寄せられました。最近では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、子ども達が多様な体験やイベント参加が難しい状況が見られます。家庭での子育てはもちろん、社会で子どもたちを育てていくには、多様な社会参加の機会が重要です。

NO	意見（原文のまま）
1	人に感謝 何でもけいけんさせる事
2	コミュニケーションの場、機会が増えたらいいと思います。
3	成長してからではなく、幼少期から親子共に参加する事が大切だと思います。
4	・町内会活動への加入や子供会活動等・地域との関りを増やし、見守られながら安心して過ごせる社会を作る。 ・子ども達が参加できるボランティア活動や体験型のイベント等、地域の人達との交流の場を増やし、触れ合いの経験から、安全に安心して活動することのできる機会の確保及び提供。 ・地域活動が充実し、学校・支援団体等とも連携がとれる社会であること。
5	その子をとりにく環境（保育園・地域・児童発達支援事業所・市）と連携を図り、その子の居場所作りの確保と早期対応。
6	地域（社会）に理解してもらえる場を作ること
7	様々な事を経験し自己肯定感を高めて行くこと
8	家庭だけでの子育ては難しい世の中になってきています。異世代交流ではなく、常に、異なる世代が過ごせる環境作りが大切だと思います。親や学校よりも、生きた先人の方々の中で過ごすことのほうが、自然に子供の自立と成長につながると感じます。
9	子どもたちにとって遊びたいときに遊ぶ、学びたいときに学べる環境が大切であると考えます。子どもたちにとっての「遊び」とは、「楽しさ」を追求する活動であると同時に、体を動かす、友だちと関わるなどの体験を通し、さまざまな発達を促す重要な意味を持っています。それを奪うことなく、周りの大人が温かいまなざしで見守る地域であって欲しいと思います。
10	先日の選挙で、子どもと一緒に投票されている方がいました。社会参加は親が参加すれば子供も参加しますが、親が参加しないのであれば、子供も参加せず結果、世間が狭くなる状況です。PTAや地域活動の反対や不参加が容認されると子どもの社会参加は難しくなると思

	います。
1 1	家庭での環境が大事ですが地域での活動、学校での活動を参加し、行政の支援を受けられる社会であること。
1 2	子どもたちは、いろいろな考えややりたい事がたくさんあります。しかし、その考えなどを伝えたり、やりたい事をどのように実行する方法は知りません。子どもたちにの社会参加を大人だけが考えるのではなく、子ども自身にも考えてもらえるように子どもにわかりやすい社会参加の方法を示すことが大切だと思います。
1 3	・地域の方々（高齢者・異年齢児等）と関わり親しみをもって楽しく生活していけること。
1 4	・幼少期からのボランティア体験、見える化で頑張ってきた成果は、ポイントとしてマイナンバーカードにも残るなど。自分たちは、社会に何かしら参画しているというきっかけや意識を持たせてほしい。
1 5	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが当たり前で差別なく周囲と関わり、過ごせる環境。 ・子ども同士の中で学ぶことの大切さ。子ども同士の遊びを大切にする関わり方が大切。自分で発見できる力を付けてあげる。 ・友達と関わりながら、色々と参加する事で、楽しさや自信などもよりついてくる。近所の年の近い友達など、あまり知らないの、地域の子どもの活動などあればよい。また、自由に参加できる社会参加のプログラム。 ・社会参加できるような環境を作り、それを手伝いが出来るように、大人が動くことが必要。手伝いをしたい。 ・地域の見守りを行う中で、様々な人との関わりを多く持ってほしい。
1 6	地域や、学校がいっしょになって、自分らしく生きられる活動の場を作ってやるのが大切だと思います。
1 7	色々な経験をできる場をたくさん設けてほしい。
1 8	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に即し、地域の中での活動に子どもたちが参加する活動を組み入れていく。 ・大人がさせる、すべて仕切るのではなく、中・高校生になったら、自ら計画し、実行していくように支援していくようにする。 ・そのために行政は、よりよい活動を設立していくことが望ましい。
1 9	主任児童委員として、地域の子育てサロン開催の活動があるが、対象が乳幼児の子供（親子）なので、直接意見が聞けない。なので、子供達の反応、親御さんの意見、支援会議での意見交換等を通じて、子供達が安心して楽しめる時間を提供出来たらと思っている。
2 0	・幼児期より子どもたちの中で、仲良く、たくましく、生きてゆく環境を作ってあげること。
2 1	子ども達がいろいろな仕事が体験できる施設、発言できる場が鹿児島にもあってもいいのではなかとと思います。
2 2	地域活動、スポーツ、文化、芸術活動に参加し、その体験活動を通じて学ぶこと、異年齢で教えあう事などで社会教育を学ぶことが大切だと思います。
2 3	児童クラブにおいては、保護者、学校側との意見交換会などをして参加できそうなイベントには参加を促していくことが大切だと思います。
2 4	人とたくさんふれあえる場。

25	今の時代子ども同志で外で遊ぶ等昔（私達が子どもの頃）と比べると少なくなっている（ほとんど見かけない）ので子ども達の中でも社会性を学ぶ事が少なくなっているの子どもだけの交流の場も必要だと思います。
26	○最近の子供は多いのですが、外で遊ぶ声が聞こえてこないゲームしている子供が多いのではと思います。 ○あいご会は大人から子どもまでと言いますが、活動が見られない。 ○各町内毎に子供が作ったり、あそんだり。（かくれんぼでも何でも良い）子供と子供のつながりを作ってほしい。
27	子どもたちが公園等で遊ぶことが社会参加（地域）にもつながると思います。公園でボール遊びなど子どもたちが自由に遊び、遊びを通して学ぶ場所に子どもたちの笑い声が聞こえる社会が大切だと思います。
28	学校での行事であれば、親も参加しなければ（させようか）という気持ちになるかと思うのでそこを増やしていく。
29	安心して行ける居場所、心の拠りどころについて地域住民で取り組むこと。役所はその為の支援をしていく（学びの機械・人的資源など）
30	子どもの学年に併せた学びができるように何段階かに分けて、知ってもらえる体制づくり、環境づくりが大切
31	町内会への加入離れが多く、あいご活動へ参加できない子も多い。色々な行事に参加したくても、あいごに入っていないので…という子の声も聞く、地域の活動に、参加しながら、地域の方、異学年との交流をする中で、成長できると思うので、身近な方々に見守られ成長できる環境が作ってあげればと考えます。
32	子育て支援 フリースクール 不登校の子どもの集まれるスペース
33	地域とのつながりを作り、行事や催し物に参加できるよう、地域と学校との連携一体化が必要 地域での見守り
34	小学校入学時、体幹の保持が出来なく、落ち着かない子どもたちが増えている気がしています。幼児期に「外で体を使って遊ぶ」「いろんな人と関わりをもつなかで言葉や社会性を身につける」ことが出来ることで、自分の意見を持ち、人に伝え、人の意見も聴き、人の意見を受け入れ、よりよい方法を模索することが出来る様になるのではと考えています。まずは、「人と一緒に遊ぶこと」が大切だと思います。
35	あいご会との連携。子どもたちはあい会に入会させ地域住民の交流をはかっていく。
36	・地域の行事等、市や県のイベント等に参加し、たくさんの方々に接すること。
37	社会の中で子供たちが自由に参加できるような場面がたくさん得られるようにすること
38	経験者から話を聞いたり、一緒に体験できる機会があり、自由に選べるイベントの提供は今後も続いていくといいと思う。
39	世代間の交流による体験の蓄積。
40	子どもが思い切り体験活動ができるような公園等の整備
41	社会参加し成長していくために、子どもたちにわかりやすい学ぶ機会というのも大事だと思うし、安心して生きていくためには、周りにいる人や社会というものが、見守ってくれて

	いるという実感があつたらいいなと思う。成功体験も大事だが、成功体験にいくまでの失敗や何かあつたときに、フォローしてくれる人や何かがあることの方が大事に思えます。
4 2	子供達は年齢を重ねると共に行動範囲や興味・関心の対象が変わってゆく為、その都度子供達が参加出来る社会活動などを地域を等して増やしていく。同年代の子どもたちや大人たちと係わり、共感や達成感を感じることで社会とのコミュニケーションをとりながら成長していくと思います。
4 3	親・学校以外のこどもの居場所が当たり前のように地域に存在すること。SOSを出さなくても、親・学校以外と接することができるような環境づくりが必要だと思います。
4 4	子どもに…という割には、子どもの遊び場所も少ないし、お金以外の子どもへの心や体の成長に関して窮屈に思う。
4 5	小さいうちから親子で地域との関わりを持ち、小さい集団(家庭での関わり方)から段階を経て大きい集団に移行出来るようにしていくのが望ましいのでは。保育園幼稚園の規模が大きすぎる。異年齢交流の機会を小さいうちから増やす
4 6	昔のように学校は地域にひらかれた場所としてくれることで地域と関わりやすくなり社会参加しやすくなる。
4 7	早くからの集団生活の場(保育所や認定子ども園など)への参加で、物ではなく、人とのコミュニケーションの経験をえることが大切だと思います。
4 8	乳幼児期の肯定的な感情や経験の積み重ねが大切だと思います。
4 9	子供が自主的に学習し、活動する場があることが大切だと思います。
5 0	仲間と結び合う自由が大切。(集団で行動できることが社会生活の一步だと思う為。)
5 1	子どもが主体的に仕事体験が出来る場(施設)があつたらいいと思う。 キッズニア甲子園のようなリアルな仕事の体験をし、社会のルールやマナー、働く事の楽しさを学ぶ場になると考える。
5 2	・年少期から社会性を熟成していくことが必要である。子どもの参加が図られるよう魅力ある自然体験活動や生活体験活動、地域活動、ボランティア活動等を積極的に推進する。
5 3	・子どもが安心して集まり守られ、遊ぶ場所づくり。 ・色々な自然体験を行う場所づくり。
5 4	幼少期から親子で参加できるイベントを通して社会に触れる機会を増やす。年齢に合わせたボランティア活動を強制的に参加するシステムを計画してもよいのかと思います。
5 5	貧困で参加できないのではなく、開かれたところで参加できるように、そして障害のある子もない子も地域の中で過ごせるように、机上の勉強ばかりでなく、自然の中でわくわくするような環境を作る、大人の責任が大きいです。
5 6	家族単位で楽しみながら、人間関係を作れる場を提供してあることが大切だと思います。
5 7	コロナ禍ではなかなか難しいと思いますが、親子で参加できるイベントや場を増やす事が大切だと思います。
5 8	コロナの影響により外へ出での活動が制限されているので、社会参加がしにくい状況。 少しずつ社会状況に合わせたイベント計画をしていただき、社会参加につなげていただけたらと思います。

59	コロナ禍で様々な活動が中止になる為、経験が出来ない生活を過ごしている子供が多い。郊外学習等の体験を含めて自身で疑問を生み出す機会が増えてほしい。子供が安心して過ごすには保護者の心の余裕、経済的な安定が必要と思われる。子供に様々な経験を積む為に裕福に関わらず経験を積める環境になり、自由に選択できるようになってほしい。
60	一言で言うと、遊びや体験、経験を多くさせていくことが大切ではないかと思います。IT社会になっていく現代ですが、やはり、教育的な柱は変わってはいけない部分なのではないかと思います。
61	これからはIT等に関する情報教育の充実は当然こととして、人間関係の大事さや自然環境の大切さにも目を向けて生きていけるような、感動的体験活動が大切である。(日本の伝統、鹿児島良さを体験して世界にも目を向けてほしい。)
62	Society 5.0の未来社会が迫っている中、デジタル社会の影の部分に対応する対策を講じることが大切と考えます。幼児・小学生でもTV、スマホ、ゲームにどっぷり浸かり、中々離れられない子どもたちがいます。自然体験や文化体験、勤労奉仕体験など、五感を通じた原体験の機会や場を増やし、デジタルとアナログの調和を図る必要があると思います。
63	・子どもが遊べる場、過ごせる場を作ってほしい。安全な世の中になってほしい。
64	社会参加という点では、様々な経験をしていくという点で「車いす」であっても社会全体が平等に考え対応できるようにしていくということが大切だと思う。

③大人の意識や子どもへの対応について

子どもの健やかな成長を育むためには、大人の側が、子どもの権利について理解し、子どもと関わる事が大切であるという意見が多く寄せられました。中には、子育て中や子どもと関わる方だけでなく、「子育てが終わった方、子育てと関係ない方、全ての人々が元々は子どもだったという事を思い出して自分のことと思って、すべての子どもを大切に思って欲しい。」といった意見に見られるように、社会全体で子どもを育てていくためにも、多くの大人に、子どもの問題に関心を持ってもらう必要があると考えます。

NO	意見(原文のまま)
1	子ども一人一人に愛情をもって接し、子どもの心の背丈に寄り添い、子どもの育つ権利を擁護しつつ、推進していくことが大切ではないかと考えます。
2	まわりの大人達が注意したりいつくしみ合えたら。子ども達も少々のわがままやがまんも出来る社会になったらいいです。
3	大人が大人になる事
4	子どもの権利条約にある子どもの最善の利益が第一に考えられることが大切であり、どの大人もそのことを頭に入れてほしいと思う。
5	周りの大人の正しい理解と関わり
6	子どもを支援していく者が学び、実践していくこと
7	保護者や地域のモラルの高揚
8	常に大人が子どもにあたたかい言葉をかけながら、安心できる場や雰囲気をつくっていくこ

	とが大切だと思う。
9	子どもの権利条約の内容をしっかりと理解し、日々、子どもたちへの関わり方を考えていくことが大切だと思います。
10	みんなが子どもの権利条約の内容を理解し、子ども自身を含めみんなで取り組む姿勢が必要である。また、理解する場も必要である。
11	自分自身の生き方・考え方を理解していくことや生活する為に環境に左右されないことが大切であると思いました。 【6】でも回答しましたが、より多くの職員や保護者の理解・周知というものが必要なので、研修等を実施して頂き学ぶ機会を増やしていただきたいです。
12	子どもの権利条約の遵守だけでなく、多様化の進む社会において、さまざまな人権課題と同様に一人一人が大切にされる社会意識の醸成が必要だと考える。
13	子どもを取りまく環境の改善、例えば子どもを養育する保護者の就労条件の改善、子どもたちが身を置く場所で見守る大人たちの意識の改善など。「子どものために大人を変える」
14	先づ大人が子供の権利について、よく理解することが大切だと思います。
15	・現在は、子どものことを考えているという名目で福祉の面から援助や寄り添いをしているが、果たして、その子どもの本来の性質や専門を理解し関わっているの疑問が多い。子ども最善の利益とは、子どもが主体となった意見や話し合いができることが大切なのではないかと思います。子どもの権利を尊重することも大事ですが、まずは子どもに、人格、人権がある本来の意味を、私たち大人が理解していくことが大切なのではないかと思う。
16	子ども一人ひとりのその子らしさを尊重し、大人の考えを押しつけるのではなく、共に考え、解決していくような大人の側の姿勢、学校、社会の姿が大切だと思います。
17	親、大人の責任の啓発
18	・昔からの常識が今の子供たちには通用しないことを大人が理解する
19	社会全体の意識の向上、相談窓口の充実
20	大人が変わることだと思います。大人が自分自身を大切にし、笑顔で生きていることが、子どもたちを幸せにするとと思います。
21	周囲の大人が、健全で明朗な生き方をしていることだと思います。主任児童委員として少しでもそのような地域社会作りに貢献したいと思っています。何かあってもまわりで支えることができ乗り越えることができれば、子どもには生きる力が備わっていると思います。
22	・地域の住民の広い心、地域で育てようという気持ちを持てるように広報するとか
23	今の大人が責任を持ってこの条約を理解し尊重することだと思います
24	子どもを守るため、保護者、大人の正しい理解が必要なため、大人を教育する場が必要と思います。
25	親や子どもをとりまく大人への啓発も不可欠
26	子どもが育つ環境の中では大人の人たちの背中が大変重要だと思います。大人の自覚がということを常に考えています。
27	子どもを見守る大人が、子どものことに関心を持ち、良き社会人になるように導くこと。
28	大人の意識を変えることが一番重要だと思う。

29	保護者や周りの大人の人たちも権利を学ぶ機会があればいいと思います
30	大人が社会の為に尽くしている姿を見せる事が大切だと思います。
31	一人一人を大切に。子どもに、大切な存在であることを常に伝える大人が必要だと思います。
32	社会が多様化する中、ジェンダーの問題、色々な発達障害や子供達を取り巻く様々な状況についてもっと知ることが大切だと思います。
33	私達が子供の事を知ることが大切で思いやりをもって行動すること。
34	親、社会が子どもの権利について知り学んでいかなければならないと思う。子どもは、その親、その社会を選ぶことができないので。
35	・心豊かな地域社会を築いていけるよう大人にも子どもにも、この条約の普及・啓発を進める必要がある。(子どもの権利を尊重しようという市民の意識化を推進する。)
36	子どもに対する理解と共感
37	私たちが持っている偏見や差別心によって、何の罪もない子どもが差別の対象になったり、不平等・不利益な状況に置かれていることが多々ある。「子どもが安心して自分らしく生き、社会参加しながら成長していく」ことができる環境づくりや意識づけをするには、大人が自分たちの偏見や差別心を見直し、顧みる必要がある。
38	ある程度の標準化(社会性や協調性)の土台の上に個性を育てる二階建ての育ちを実現させることが大切だと思います。「自分の意見を持ち、他者に共感することもできるような子ども」「自分の目標を持ち頑張ることのできる子ども」に育てるために、まずは大人が変わっていかなければならないと思います。
39	親や社会がまずはしっかりすべき
40	大人の愛情、愛着が大切だと思います。
41	子どもに関わる大人(保護者、教職員、スポーツ指導者等)の確かな思慮分別。大人の自己中心的な思考が子どもに影響を与えている傾向。
42	大人が持っている偏見を減らす。子ども達の垣根は低いと感じています。大人が持っている地域の風土、価値観、偏見などが子ども達に影響し、そのような思考となり垣根ができていくように思います。当事業所の対象は重症心身障害児であり、言葉でメッセージを出すことは少ないですが、全身で大人にたくさんの事を教えてくれています。そのメッセージに大人がきちんと向き合うことだと考えます。
43	児童虐待の問題も増加しているが、子どもの一番近くにいる子どものことをしっかり守り育てていく保護者、また、地域社会がそのことを意識・理解して欲しいと思う。このように社会全体が子どもを取り巻く環境について問題意識を持つことが大切だと思う。
44	子育てが終わった方、子育てと関係ない方、すべての人々が元々は子どもだったという事を思い出して自分のことと思って、すべての子どもを大切に思っ欲しい。(経済的な面からも)
45	子どもをとりまく様々な人たちがお互い支えあえるような、大人の意識改革が必要だと思います。
46	子どもを取り巻く大人の意識を変えること、子どもの人権について知ること。

47	どのような環境の子どもも、安心して生きていける環境を整え、大人の私たちが子どもだからと差別することのないような社会作りをしていく。そして、一緒になって地域づくりなどにも取り組んでいく。
48	周りの大人が「子どもの権利」を知り、内容をしっかり理解して接することが大切だと思うので、周知する機会を増やしていくことが大切だと思います。
49	小学校以上の教育機関で大人側の意識を変えていくことから。
50	保育教諭の意識改革
51	親や社会が子ども自身の最善の利益を考慮して役割（義務）を果たすという機運の醸成
52	現状を知ることと私たちに何ができるのかを考えていくことが大切だと思います。
53	きちんと正しいことを教え、伝えられるよう、まずは大人がしっかりすること。
54	保育 幼稚園 小中学校で、それぞれの子どもの環境に対して 対応できなければ、何もならない。できる指導者の養成。
55	これからも更に子どもの権利が守られるように、教職員が常に子どもの権利を学ぶ研修会を行い続け各種団体が計画し実行し実践出来るような場があれば良いと思います。
56	子どもの権利を大切にす社会(家庭はもとより、母子保健・幼保・医療・小中高等学校、子育て広場 etc) を大人が子どもの4つの権利を意識し合うことが大切だと思う。
57	発信しやすい場所や機関として学校や保育園や親子でよく利用する集合場所である。子どもの権利について大人が学習しなければならない。そのうえで子どもたちにいろいろな意見を聞きそれを活かすことが大切ではないかと思います。
58	自然災害やコロナ等のように、環境の大幅な変化にともない社会も大きく変化している状況の中、大人の「今までの」常識や固定概念を、子ども達に押し付けないことが大切だと思います。イノベーションは若い世代から出てくるので、その芽をつまず、伸ばし尊重できる環境を作ることができれば、鹿児島も持続可能な社会へと変革できると思います。
59	特に乳幼児期における「愛着形成」が土台となり、その後の「自己肯定感」を育むことが大切だと思う。

④保護者の責任や意識・家庭環境について

③ともつながりますが、児童の権利に関する条約第18条にもあるように、子どもの養育及び発達に対する第一義的責任は保護者にあることから、保護者や家庭環境に対する意見も多く寄せられました。中には、保護者が子どもにしっかりと関わるができるよう、保護者に対する意識啓発や教育を望む意見も見られます。

NO	意見（原文のまま）
1	保護者の考え方（方針）で、子どもの社会参加等、制限されるのが見られることが残念である。
2	・親が親の責任を果たしているのか疑問に思います。行政・学校・施設等に任せきりなのは・・・？学校や保育施設でどんなに心をつくし保育や教育をしても最後は親です。親がどれだけ子どもの権利を尊重しているかだと思います。

	保育士の1人として子どもが子どもらしく育つためには安心できる場所でよく笑いよく泣き感情表現が十分に出来、それを受け止める人信頼できる人が必要だと思います。
3	一番は家庭環境が重要。親の愛情の深さで、子どもの成長に大きく関係していく。又、我々、保育所を含め、地域の方も子ども達の成長を支える一つであり、子ども達の安心、安全を守る社会体制が重要であると思う
4	子どもは小さい時からの「生活体験」が必要だと思います。生活体験は家庭の中でしていくもの、積み重ねていくものだと思います。親が体験をさせてあげられる意思を持つことが大切かなと思います。
5	子育てをされている親にしっかりと学ぶ機会を保育園、小学校 etc 研修する機会をしたらよいと思います。すべて親なのではないでしょうか！！
6	親の意識の差がありすぎるように感じる。 まず、安心して親が生活、子育てが出来ないことには始まらないと思う。
7	両親の思いやりが大切だと思います。
8	・子どもの発達に依じての健やかで伸びのびとした心理状態を両親がしっかりと把握して、けじめある生活習慣を家庭ぐらし育児に取り組むようにする
9	保護者の考え方に問題があることがあります。親としての心得などに注目できるような施策をお願いしたいです。
10	大人が（保護者）内容を理解し、成長し、支援する姿勢を持つことが大切だと思います。
11	子どもを育てることとは、どういうことかを具体的に親となる大人が理解しておくべき。泣いたり、自我による反抗期などをしっかりうけとめて、自己肯定感が育つ環境が安定してあること。
12	保護者が仕事で忙しかったり・保護者も自分の時間が欲しいのか子どもに向き合う時間が少ない家庭が多いので子どもの心の安定が守られていないのもっと親子でかかわる大切さを知らせてほしい。
13	まずは家庭環境だと思う。
14	親との関わりが少なくなっているように思います。もっと、親子で楽しむようなものがあればいいかと思います。
15	・親も、人まかせ（保育園、児童クラブ、じゅく）ばかりではなく、子どもと過ごす時間を増やせる社会を作る
16	子供が安心できる場所は家庭です。両親が仲良く、つねに自分を大切に思ってくれていることが子供にとっては、とても重要です。その家庭の中で育った子供は、しっかりとした目標、夢をもち、社会に出ていけると思います。
17	家庭（両親）の理解
18	まず、保護者の意義の有り様が大切だと思います。自身の反省として思うことは、”親子であっても子どもには子ども自身の人格がある…”という事。成長過程において人格を尊重しつつ、親（大人）が助言していく…。自分らしく生き、もっとのびのび育ったのではと反省です。子育てを終え（今でも親と子に変わりはありませんが）た現在、あらゆる事を客観的にみる事ができ、もう一度子育てをやり直したい…と思います。「子どもの人格を尊重しつつ、

	親も心に余裕を持って子どもに寄り添う事」が大切と思います。
19	保護者の都合で複雑な家庭環境に置かれ、不安や不満を抱え、自分に自信がもてなかったり、社会参加ができなかったりする児童が増えなければよいなと思います。
20	子どもだけでなく、「親育て」をしていくこと。
21	大人（保護者）の指導又は再教育
22	保護者への教育が大切
23	保護者の教育
24	まずは一番身近にいるはずの子どもの保護者に対して周知することが大切だと思います。
25	子どもが健全に育つためには、親の教育が必要ではないかと思います。親の行動、言動に頭をかかえる事があります。
26	子どもが安心して生活するためには、保護者が安心して生活できていなければならない。親の学びの場が必要。
27	先ずお子様が出来た時から両親に子供の権利を優先した社会である事をし知って貰う、困った時は相談の窓口を市役所にあり一緒に育てましょうと子育てが安心な社会を広報したら子供も自然と社会参加し成長していく環境になるのでは。
28	親が子供の道を勝手に決めないことだと思います。親は、人としてはずれないレールにいるうちは子供の成長を引っ張るよりサポートしてあげることに徹するべきと考えます。
29	一幼児の時代— 若い父母に機会をとらえて ・様々な行事や学習の機会を紹介してあげることが有効だと思います。 ・園や学校に「子育ての方法、チャンス」等について資料（本や冊子）があれば月報、週報等で紹介していきたい。 少しでも協力していきたい。いつも感謝しています。
30	家庭での生活リズム。親の生活に子どもをあわせて、夜型の生活を送っている子どもが多い。
31	乳幼児期から親子のふれあいはとっても大事なことで常に思います。
32	自分を認めてくれる暖かい家庭環境。
33	・安定した家庭環境の保持
34	基本的な生活習慣。善悪の判断を家庭で身に付けさせること。
35	まずは家庭が第一 家庭での子育ての在り方が重要
36	子どもがさずかって、子どもと、赤ちゃんと過ごすことが1年は大切だと思います。子育てをしっかりとできる経済を考えてほしいと思います。自分の子どもを愛情をもって育てていけるような、見守りと環境を願います。
37	・目標達成までには多くの困難を乗り越えられる強い精心力を家庭でも育てる（家族間の一人ひとりが信頼関係で結ばれ心身共に健康で希望に満ちた家族構成であるようにする） ・子どもが自己中心的でなく、自分の目標達成のためには、いろいろな困難にも辛抱強く乗り越えていけるようにまた安心できる家庭を築いていくようにする。 ・家族全員が協力して、虐待のない明るい家庭をきちんとした生活習慣の中でも目指してい

	くようにする（できるようにする）（強い家族愛、家族愛のある保護者・両親でありたい）
38	家族、家庭あつての子どもです。みんな仲良く、心豊かに生活していける家庭環境が大切か と思います。保護者も迷いながら子育てをしています。大人もお互いに助け合いながら社会 参加し、生き甲斐を感じることでないでしょうか。人間として認め合い、幸せを願い、し なやかな心を持って明るく楽しく…ですね。

⑤貧困等による格差や児童虐待等が無い社会について

家庭の経済的状況等により、子ども達が教育などの様々な場面で影響を受けていることを危惧する意見が寄せられました。②ともつながりますが、子どもたちには家庭環境に左右されることなく、機会の平等を保障していくことが大切です。

NO	意見（原文のまま）
1	放道等で子供への虐待等が出る度に胸がしめつけられる思いがします。何度も児童相談所に相談していたにも関わらず、子供の命を守れない状況に果たして公的な児童相談所が機能しているのか首を傾げざるを得ません。警察の関わり、もしくは警察OBの方の配置が必要なのでは・・・と思います。
2	家庭的に問題を抱える児童が増加してきていると感じる。金銭的なものだけにとどまらず、そういった家庭の児童に対し必要な支援が確実に届くような施策を求めたい。
3	子どもがだれ一人取り残されることなく、平等に安心して生活できるように、経済的、恵まれな子どもたち支援（行政）政策してほしい。
4	子どもを有する家庭が貧困であってはならないと思います。 市や県、国が、よく見極め、寄り添い援助するべきだと思います。
5	格差の現状を詳細にみて救える子どもを見つける努力
6	貧富の差に関係なく幼児教育から高等教育まで受けられること
7	ヤングケアラーの子どもたちがやはり気になります。情報共有の場で連携して子どもらしい子どもを育てたいです。
8	家庭環境により、教育を十分に享受できない子どもへの支援が大切だと思う。
9	子ども達が夢や希望に向かって安心して教育を受けられるような環境や社会。 やはり経済的・身体的・家庭環境等で子どもの受けたい教育が受けられていない現状も多く感じる。格差をなくすことは難しくても、子ども達が自分らしく生きることをあきらめない社会づくりは大切かなと思います。
10	母子・父子家庭支援、家庭内暴力防止政策、貧困問題対策など子供を取り巻く環境への整備がさらに充実されると良いと思います。
11	経済的な不安などから進学を諦めることがないように教育の無償化を更に進める。
12	・金銭面に大きく影響することなく周囲との関わりや遊び、勉強等さまざまな経験ができる環境
13	経済的に困窮している子どもたちに対して社会的な扶助がしっかり行き届くことが大切だと思う。

14	どんな世帯や地域に生まれても、子どもの生きる権利や学ぶ権利が保障されること。地域の子育て支援が充実することで、虐待などの暴力から子どもを守ること。教育の無償化など教育機会の均等化により、貧困の連鎖を食い止めること。
15	支援が必要な子どもがいる。経済的に、能力的にちょっとした支援があれば、安心して自分らしく生きていける子どもがいる。そのための支援を、ぜひ考えて実行してほしい。

⑥地域による見守り・支援・連携等について

家庭や学校・地域が連携して、子どもを見守ることができる社会を望む意見が多く寄せられました。そのためには、③ともつながりますが、大人側の意識や学びも必要です。加えて、子どもと関わる関係者が連携しながら、子どもの成長を見守ることも大切になります。

NO	意見（原文のまま）
1	・親や地域との関りを深める ・優しく温かく子供を見守るよう大人がサポートしていくことが大切だと思います。
2	大人のサポート、環境設定
3	信頼できる大人がすぐ近くにいること。
4	大人の見守る目。子ども同士、大人と子どもの交流の場や機会があること。
5	居住している地域や町が安心して子育てができる。 地域での行事などの参加を通して、地域に見守られ、成長していければと考えます。その為に地域の活性化が大切だと思います。
6	・周囲の大人との繋がりを持つ（親以外の大人の見守り、声掛け）
7	子どもが安心→基本の衣食住を守ること→子どもや親を甘やかすのではなく、見守り声かけをしてくれる存在が必要
8	地域の見守り
9	家庭、学校、地域が連携して、子どもを見守り支えていくこと
10	親・地域・学校等の子どもに対する愛情
11	学校や地域で守りながら、情報共有してやっていく。
12	・学校の先生、保育士、支援員など子供と関わりのある者と国、県、市などとの連携
13	子どもを守ってあげられる環境が必要。
14	大人の見守り、援助が第一と考える。
15	となり近所とのかかわり、町内会や、地域のかかわりが、とても大切だと思ひ思ひます。
16	地域全体の見守り
17	・子どもが成人になるまでには他者への思いやりがあつて、責任感が強くて、心やさしい子どもを家族や地域社会でも小さな芽から大きな芽へと育成していくようにみんなで心がけるようにする。
18	家庭や地域、学校などそれぞれの場で気軽にあたたかく子どもをサポートしていくことが大切だと思う。
19	学校とクラブが連携をとって、保護者とも同様にしてかかわっていかないといけないと思ひ

	ます。
20	地域、家庭のつながりを持って、子ども達を見守っていく事が一番大切だと思います。
21	家庭、学校、地域などが情報を共有していくこと。
22	周りの大人の環境づくり、サポート。
23	生まれた時から家族とともに見守ってくれる人がたくさんいる地域でありたいと思っています。親が安心して子育てできる環境にあればそれが子どもの安心にもつながると思います。
24	社会全体 周りからの見守り
25	大人一人一人で見守っていくことが大切
26	周りの大人が その子どもなりに 自立できるように声かけ 見守り 寄りそうこと
27	放課後クラブなど地域の人とのつながりを大事にしていければいいと思います。
28	・子どもが安心して生きれる環境で育てられていない実態を知っても、具体的に支援できる力を個人では持てない。 主任児童委員として、関係機関へ情報を伝えてはいるが、情報交換だけでは、救えない。スピード感のある対応が求められる。今、困っているケースがあり、支援を求め関係機関へつないではいる。
29	大人の都合で規制やきまりが多く、私が子ども時代の頃に比べとても窮屈に感じる。大人がもっと大らかに子どもを見守りかつ見守る大人が大らかでいられる社会になってほしいと思う。
30	・どんな境遇の子どもも安心して生きられるように、保護者以外の大人が地域の子子ども達とのかかわりを多くもち、関心を深めていく。
31	地域社会が子どもを育てるという意識が高まることが大切だと思います。
32	大人が寛容に、地域社会として子育てができる環境を作ることが大切だと思います。
33	上記にも書いた通り、家庭・学校・行政サービス・福祉サービス・地域のボランティアの方々等が、一人の子子どもに対しての情報共有が出来れば、その子の何かの時にフォローがしやすくなると思います。
34	家庭以外の保育施設、学校、公共施設はもちろん、地域の方々との接点があると、子育て世代の保護者の方々も安心してすみやすい街になると思う。 昔ながらの地域が子供を育てる環境はとても良い環境だと思う。
35	昔のように近所の方が見守る体制があり、親や親戚でなくても協力してもらえるような社会になること。また、子どもが小さいうちは熱が出たら体調を崩してしまうことが多く、働いていると休みを取りたいが、なかなか取れる社会ではないのが現実です。子どもが社会参加するにも親の協力は必須なので、子どもの行事に参加しやすい社会になると親の気持ちや経済的にも安定し子どもと関わりを持つ親も増えてくるのではないかと思います。
36	家庭と学校だけではない場所（放課後等デイサービスや病院、相談機関、地域の団体など）とつながりを持ち、連携を取り合うことが大切だと感じます。
37	園・学校・地域の有識者によるサポートが大切。
38	見守り強化と現場と行政の連携

39	家庭、学校、地域の中で愛されていることを実感することが大切だと思います。
40	教育現場だけでなく、地域全体でも周囲の大人の見守り、声掛け等の協力が大切だと思う。
41	町内会や地域活動を通して、子供は大人に守られているという意識を持たせたい。今の時代なかなか難しいが。
42	隣接所・地域の見守りが重要であると思う。 校区ごとの活動、あいご活動が減っているが一つの行動を通して縦のつながり横のつながりを深めていく意味があるので活動の推進を呼びかけていただきたい。
43	保護者や祖父母、地域へ子どもの権利条約を積極的に啓発し家庭と施設と地域が連携を取って見守れる環境を整えること
44	基本的な生活環境が守られ、不安なく生活できることが大切だと思います。社会全体で未来を担う子ども達の成長を見守られるような仕組みを作っていくことも大人の責任だと思います。
45	善悪の判断が未熟な子どもにとって、大人の手や声がいつでも届くような環境を作ることも必要ではないかと考えます。
46	地域の行事に参加し地域の皆で見守るような、地域で行う支援
47	・個人情報などで難しい世の中であるが、幼児期の環境が心身ともに人間の成長に与える影響は大きいので、複数の人の目で子ども（家庭）を見守りと共に、子どもが言葉で伝えられるようにコミュニケーション力を育てていくことと、環境を作ってあげることが必要だと思う。
48	子どもは親を選べない。どのような家庭に生まれても皆同じような環境で同じように育っていけるように自治体や地域で全ての子どもを見守りができるような社会でありたい。
49	信頼できる大人がそばに一人でもいること
50	・地域の大人による見守り
51	周りのサポートと連携に尽きると思います。
52	みんなで（地域、社会、家庭、学校等）子どもを見守る、子どもが伸び伸び活動できるような、大きな温かい目で見守り、成長を応援してあげられるような寛大な心を、大人が持ち続けること。
53	家族の理解は基より、地域の子どもたちへの関わりが希薄になってしまっている、環境があると思う！過ぎた個人情報保護法は、弊害になっているように感じる。
54	・地域全体で子ども達が守られ、安心して過ごせる環境
55	国、県、市、全体からの見守り。地域での住んでいる子供1人1人の見守りが必要であると思います。その体制作りをお願いしたいです。
56	・地域、行政が、より協力し子ども達の成長の手助けをする。
57	子どもに関わる施設人々の共通理解。連携をし育てていく。
58	もっと子どもに関わる人たちが増え、安定して関われるような体制づくり。
59	・昔のように地域全体で育てることが大切!!（他の子も、我が子と同じ考え）
60	子どもは国の宝ということを全ての人が思うこと。
61	学校や地域や福祉、病院、児相など連携して子供を守る連携が必要だと思います。明らか

	に大変な状況でも本人に困り感がない、保護者にも支援が必要な場合、そのままになってしまいう状況があります。例えば、日本財団が推進している「第3の居場所」のような場所があると支えになりよいと思います。よろしく願いいたします。
6 2	親だけでなくコミュニティ全体で愛情を持つ

⑦教育について

子どもに関しては教育活動と密接なつながりがあることから、教育に関する意見も寄せられました。例えば、子どもが自分の権利を行使するためには、まず自分が持っている権利について、子ども自身が学ぶ、知ることが必要であるとの意見や、現在の学校教育の在り方について変革を望む意見が見られます。また、教育とは学校だけに限ったことではなく、家庭や地域も含めた、様々な場面で子どもを教育していくという視点での意見も見られます。

NO	意見（原文のまま）
1	・ 保育環境、教育環境の充実
2	・ 教育環境の充実
3	教育・医療が平等に受けられるような仕組みの作成。
4	支援学級があっても先生たちが転勤により初めて支援学級に配属されるのが現状です。グレーゾーン子どもたち、「発達障害の子どもたちが安心して学べる場が充実していけばいい」と思います。保護者も学校により、年度により、支援学級での支援が違い悩みを抱えています。
5	小学校に上がるまでに、読み書きやある程度の学力を求められるような風潮があります。もちろんそれも大事な事なのかもしれませんが、障害名はつかないが、いわゆるグレーゾーン子どもたちにとっては生きにくい環境になりかねません。一人一人の成長の早さは違います。みんなと同じようにだけでなく、各々のペースを保障される世の中であって欲しいです。
6	・ 子どもに障害がある。子育て中、他の健常な子どもと同様にスムーズに就学を迎えられなかった。情報も乏しく、地域の支援学校の理解の低さに愕然とした。教育現場の多種多様な子どもたちへの対応スキルを教員に学んでほしい。
7	学校教育が様々な違いを暖かく受けとめてくれる様になると子ども達も安心して学校生活を送れると思いますし、先生方もゆとりと安心感のあるシステムにしていきたい。学校がまず安心して楽しく過ごせないと次のステップの社会参加につながっていかないと考えるからです。
8	子どもが安心できる自分の居場所を確保でき、将来への夢を持つことのできる環境を作ってあげる事が大切であると思います。現在の年齢平均ベースの保育・教育の考え方ではなく、個々のペースでの成長を尊重できるような仕組みになって欲しいです。
9	・ 子どもの能力を評価し、競わせる教育制度を変える。 ・ 子どもたちの遊びや学びを競争にしない。 ・ 異年齢で遊ぶ ・ 演劇、表現、年1回でも予算づくり、保障する。

10	保護者への持続的な子どもの権利に関する学習と実践の機会を設けることや幼稚園や小学校なのでの園児・児童に対する細やかな指導が必要だと思えます。また、中学・高校生への子どもの権利条約に関する文化人類学的・歴史的・社会的な学習をしっかりと学んでもらいたい。また、行政には未来を創る子どもを社会全体で守り育てる政策に力を注いでいただきたい。
11	誰もが幸せになる道があることを子ども自身に学校に上がる前から家庭、保育園等でわかりやすく話しつつけていく
12	子どもの自尊感情を育む教育に小さい頃から計画的に取り組んでほしい。(すべての子どもの命と人権を守るために)
13	話を理解することができる年齢(小学生)になったら、学校で自分の持っている権利そしてもし困っていることがあれば相談できる場所などについて知る機会が大切だと思います。
14	学校教育において、子供の権利等を子供たちに正しく伝えることが大切であると思う。
15	子どもが自分自身の幸せのために今置かれている環境を自分自身が知ること。
16	・何かあった時につながれる場所があることを子どもに知らせる教育が、今後ますます大切になってくると思う。
17	子ども達の権利を子ども達に伝えること。 子ども自身が自分の持つ権利について知ること、知るための活動に参加しようと思うこと。 その権利は誰にも阻害することはできないと理解すること。
18	教育現場で子どもに関わる職員の学び、さらに、子どもが権利を学ぶ時間の確保(必須で)。0才から子どもを権利の主体者として育てること。
19	まずは「知る」こと。「知る」と「出来る」を増やすためのアプローチが大切。
20	やはり、教育でしょうか。学校、家庭、地域と三位一体になった教育。 小さい時から、人権の事、社会の事、地域の事を学んで、自分と他者を大切にして、住んでいる地域に誇りと愛着を持つ人材を丁寧に育てていくしかないと思います。
21	学習をしっかり行い、それ以上にコミュニケーションをとれる遊びの体験を通していろんな対応力(生きる力)を養ってほしい。学習・教育をしっかり行うことで選択肢も増えると思います。
22	子どもの言葉一つひとつを大切に受け止めること。また、教育課程に早い段階から社会のシステムについて、住んでいる地域から全国、世界と幅広く学ぶ時間を多くとってほしいのかと思います。選択肢、視野の拡大、いろんな価値観を知ること、あっていいことを伝えていくことは大切と感じます。
23	確かな学力を身につけること。
24	・教育、特に小さい頃から、上記のような社会であることが大切であり、考える機会を取り入れていく ・その時に応じた情報を確実に知らせていく、利用できるようにする
25	小学生も私服のところはよいが、標準服で男の子・女の子で服を決めてしまうことは、どうかなあと思います。
26	スウェーデン等の北欧諸国では、政治参画や投票行動に対する教育が学校教育のなかで行われ

	ています。日本も北欧諸国を参考に有権者に対する教育をしっかりとすべきだと思います。
27	コミュニケーション能力の育成
28	鹿児島なら郷中教育のように、今の時代人と人が認め合う教育 親、先生、先輩、後輩、友達、祖父母、または、地域の皆さんとも触れあう事が大事
29	子どもの自立をサポートする取り組み
30	子どもの教育活動について、保護者の経済力に関係なく、参加できる方策を段階的にとってほしい。例えば、給食費や部活動費。なかまづくりの視点から、好きな事につながる活動はすべての子どものニーズに合わせていいのではと思う。昔のクラブ活動のイメージで、地域も巻き込んで。
31	自分らしく→多様性を認める→頭ではわかっている、なかなか理解できないと思うが、広報活動を続けるうちに、少しずつ理解されていくと思う。 自分らしくは、自分勝手とは違うと思うので、自己主張と人の意見を聴く能力を備えること

⑧保護者・大人への支援について

大人や保護者の意識・子どもとの関わり方を考える上では、子どもと接する大人側の気持ちや時間・経済的な余裕なども必要です。そのために、保護者に対する子育て支援や、子どもと関わる保育士・教員等の労働環境や質の向上を求める意見が寄せられました。

NO	意見（原文のまま）
1	大人のゆとりある生活
2	上記のように大人の余裕が大切だと思います。
3	子供と共に生きている大人の方々のサポートを宜しくお願いします。子供も大人も笑顔で住ごせませうように…
4	保護者の皆様が気持ちに余裕がある生活ができれば子供達に優しく接することができるのではないかと、その為にできる支援をして頂きたいと思います。
5	・子どもだけでなく、子どもと関わる人たちへのサポート（意見交換）があれば、参考になり、環境も整い成長へ繋がるのでは。 ・子育てしている親の孤立化を防ぎ、支援してあげることで子どもの安心、安全な生活を守れるのでは。 ・親の心の安定が子どもの心の安定にも直結し、より良い成長へ導ける。親支援の子育て支援事業などを取り込み、出てこれない家庭や親の悩みに寄り添う取り組み（アウトリーチ含む）を、官民一体となって、子育て家庭を包括支援していけたら良いのではないかと。 ・家庭の環境の安定と、地域などからのサポートを受けやすくする。
6	・気になる家庭（保護者）の親育て（親支援）強化。
7	子どもの日常の行動は、日頃の学校での生活、自宅での生活が大きく関わっていると思う。そのためにも大人の労働環境、学校の教員教育等整えることも大切だと思う。
8	○両親の子供へ対しての愛情のかけ方、見守ってあげる必要がある。体験、学習させる事が大切である。

9	親との関わりを最重点としながら、地域との関わり（子ども会活動の充実） 児童クラブの充実も大切であるが、家庭で子どもと接する時間を確保できる行政支援に大きな期待を寄せる。
10	各家庭の生活基盤がしっかりと構築されていること。経済的な不安、精神的な不安を感じる ことなく子どもが子どもらしく生きていける家庭が重要だと思う。そその上で地域とのつな がり、ご近所同士の子どもを見守りも大切だと思う。
11	子供を対象にした施設等の整備は重要であるが、親が安心して暮らせる、働ける環境や、不 安や悩みを一人で抱えないようにしてあげることが大切なのではないかと思います。
12	子どもや親が自分たちで情報収集をして様々な機会に触れていこうとすることは、一部の方 だけができることなのではないかと思います。そのため、行政から、機会を分かりやすい方 法で示したり、提供してあげることが「自分らしく生き、社会参加しながら成長していく」 ことにつながるのではないかと考えます。
13	子どもが安心安全に育つには、その子を育てる親の安心安全がまず必要で、子どもを育てる のに過剰な負担をなくし、もし何か助けが必要な事があった時、躊躇なく相談できる体制が あることが大切かと思います。
14	労働力（母親の就労）の確保も重要と思うが、就学前まで母親と接する時間を多くすること が重要と思う。そういう制度を確立すべきと思う。
15	保護者がもう少し余裕をもって、子育てできる環境作り。
16	関わる親、大人が心豊かに落ち着いた生活を送れる事。いろいろな面において余裕があるよ いのか。
17	まずは保護者の方に対して子どもにとっての色々なサービスがあることをもっと知ってほ しいと思うので、今以上に広報活動を活発化させていければと思います。
18	子ども・親が孤立しないように、様々なサービスを活用できるようにしていくことが大切だ と考える。
19	子育て支援
20	母親と一対一の保育だとわからない事も多いと思うので、母親が勉強をする場所をたくさん 作っていきたい。民生委員や保育士資格を持った方々に地域に関われるような組織作りが出 来るといいのではないかと思う。 保育園なども、自由に見学や1日体験などをして母親が子どもに対しての関わり方を学ぶ場 所が必要ではないか？
21	・大人、社会の支援
22	子どもには、保護者と安心して暮らせる環境が大切だと考えます。子どもを守るには、保護 者を守らなければならないと感じることが多々あります。 社会全体で地域全体で子どもたちを育てていこうとする風土が再評価されるといいです。
23	子育てについて、全ての事業所の雇用主や管理職等が理解と配慮をすること。
24	まわりの大人が子どもたちのためにということをしつかりと考えて行動していくことだと 思います。そのためにまわりの大人が子どもたちのことを気かけられるような余裕がもて るようにまずはまわりの大人がしっかりと自立し、生活できる環境を整えられるように国が

	支援していくことが大切だと思います。
25	大人が子どもと関わる時間。

⑨相談支援について

子ども自身が相談する事のできる窓口や、相談しやすい環境を望む意見、子育てに悩みを抱える保護者に寄り添った支援を望む意見寄せられました。⑧ともつながりますが、子どもと接する保護者に気持ちのゆとりや余裕がなければ、子どもと向き合うことも難しくなります。加えて、子どもの権利を具体的に保障していくためにも、子ども自身がSOSを出すことのできる環境を整える取組が必要です。

NO	意見（原文のまま）
1	・子どもが何でも相談できる窓口
2	地域と学校に話せる人がいるか。
3	・「困っている。」「助けてほしい」と、子どもが言えるような場所づくりを広げ、そこからいろいろな機関につなげて子どもを支援できるような体制づくりをする。
4	・悩む時に相談できる場所があることを知ってもらうために分かりやすくPRしたらどうか。
5	支援サポートを必要とする子ども達にしっかり届くようなシステム 子ども達が困り感、助けてを言えるような、窓口や社会環境
6	・それぞれの理由のことから登園中の2人から3人がシングルマザーである 子ども達の将来に向けての影響が大きく、子育てのことなどについての多くの相談があり、母親の悩みなどについて先生方は時期に関係なく一緒に応じながら支援している。
7	母あるいは父が 助けて を言える場作りと馬があることをいろんな場面ですたえつづける事が大事 心地よい生活を知らず 助けて も言うことすら気づいていないかも知れません。
8	生活環境を整える。母子・父子家庭への相談窓口の充実。
9	・苦手なことがあっても、親子が生活や居場所を選択しながら、安心して過ごせるようにいろいろな情報を公開して行ってほしい。(虐待や不登校児など) ・親が気軽に相談できる場所が身近にあることが大切だと感じる。
10	地域の方々が、子どもと育てる親まで見守り、子育てを助けてくださる環境が整うとありがたいと思います。 そのために、各成長段階で、どのような専門機関に相談すればよいか一目で分かるように広報していただけるとよいと思います。
11	子育てに行き詰まっている保護者の方々向けに、育児相談会や家庭訪問等をして貰えると良いかな、と思います。
12	物や経済的な援助ではなく、じっくりと、子育て不安を語り合える場所と時間の確保など、保護者支援が大切になると考える。
13	放課後支援の充実 児童クラブとは別に食・生活の安全が守られる、相談できる場を地域ごとに配置し利用を促進する。

⑩子どもを取り巻く生活環境について

子どもが安心・安全に過ごすことのできる環境を望む意見が寄せられました。中には、家庭が大切だと思うが、家庭で過ごすことのできない子どもに対して、家庭に代わる支援を望む意見も見られます。

NO	意見（原文のまま）
1	心の安定を得られる環境
2	こども 110 番の店などがもっと増えてほしい。不審者の多い時代なので。
3	従来通りの安心・安全な社会を通して子供が成長していけるような社会を期待しております。
4	安心・安全な地域社会の確立が、子供の社会参加の基礎になるのではないかと。
5	社会や大人が学習しやすい環境をしっかりと提供することだと思ふ又、衣食住の最低限の満足を子どもが得られる環境作りだと思ふ。
6	・安心できる人的・物的環境が大切だと思います。
7	子どもが安心できる社会環境を整えることが必要
8	子どもが心身共に安心できる場所があること。子ども自身が認められていると感じられること。必要だと感じられること。が大切と考えます。
9	・子どもが利用する施設の無償化
10	安心して生きる為には まず 育つ環境が 一番大事だと思います。家庭、親にそれを要求しても 残念ながら 最近は親の養育に問題が多いです。お金だけでない心の豊かな人間に育つような教育環境作り、社会作りができたらいいなと思います。
11	家庭が一番安心して成長できる場所であると思うので、家庭が大切だと思うが、今の時代難しい家庭もあると思うので、子どもが安心できる場所の提供があればいいと思います。
12	親の愛情が不加欠の子どもが育つ時期に、親の都合などで育てられない子どもは、行政で、自立するまで援助してあげたい。
13	父母に育てられず、施設で過ごす子ども達が不安なく堂々と生きていける、社会になって欲しい（学校、地域の理解とサポート力）
14	しっかりした大人の元で成長する必要がある。大事なことだと思います。
15	私は主任児童委員を引き受けてまだ3年目で経験も浅く、具体的にどう活動していいか模索している状態です。子ども達を安全な社会で守り、育てていく為にも、できる限りのサポートをしていく事ができればと思っています。
16	子どもが安心して遊べる施設。広い場所。公園があちこちできているがあまり手入れをしていないところが多い。
17	生活の安定
18	子供の育つ環境をきめこまかく整備して行くことにつきますと思います
19	・ゆとりある社会作りをしていけば大人も周囲に優しくなれるので、子ども達にも社会参加を促しやすくなるのではと思う。子ども自身が忙しい社会だと思います。
20	健康で文化的な最低限度の生活を享受できる環境（物的・人的）
21	・衣食住はもとより学びの機会が保障され、将来的に自立できる力をつけられる環境づくりが大切であると思います。

2 2	環境が大事だと思しますので、安心して過ごせる環境作りが必要だと思います。
2 3	人も含めたまわりの環境を整える事
2 4	成人（社会的に自立）するまで、全ての子供が平等に不自由なく生活することができること
2 5	基本的に育つために、必要な生活環境をどう整えていくのか…社会人として生活できるようになる為には、幼少期の環境がとても重要であると思いますが、つらいと感じていても、感じない環境、言えない環境で育っている子ども達にどう気付けるのか…その環境、仕組みを確立する事が必要であると感じます。

⑩社会全体について

子どもたちが夢や希望を持てる社会に向けて、互いを尊重できる社会を望む意見が寄せられました。子ども支援を通して、子どもだけでなく、障害の有無や、大人であっても人権が守られる社会につながる事が重要です。

NO	意見（原文のまま）
1	親だけでなくコミュニティ全体で愛情を持つ
2	他人の権利を尊重し、夢をあきらめずにやりたいことをやっていいんだという安心がある社会コミュニティづくり。
3	子どもたちが将来の夢や希望をもって生活ができるように、大人がそのような社会を築いていく必要があると思います。
4	親が安心して子育てすることができ、その上で子どもたちが夢を実現するために平等な機会が設定されていること。
5	将来の夢を描ける明るく魅力的な社会を構築すること。
6	1 衣食住等の生活保障 2 子供目線で夢、希望の持てる環境（家庭、地域） 3 自立支援 4 教育福祉、保健医療の充実
7	差別のない社会をつくること。
8	・様々な機会の平等 ・子どもの命を軽んじない。
9	・子どもも大人も人権が守られること
1 0	一人ひとりが平等で、まわりから愛され、認められることが大切だと思う。
1 1	みんなに平等な支援が必要
1 2	どの様な環境にあっても夢や希望を実現できる社会づくりが大切だと思っています。本当に困っている家庭や子どもたちにあきらめではなくなんらかの手立てや方法を考えたり寄りそってくれる人材や場所が身近にある環境作り。
1 3	子ども一人一人が大切にされること。
1 4	1 大人が「他人の子も自分の子」と考えて、褒めて叱る社会 2 子どもが権利は守られていると自覚し、精一杯生きようとする社会

	3子どもに関わる仕事の大人が子どもを対等な[人]として接する社会 ※生意気ですが、上記の考えで教員をして、現在管理者をしています。
15	自己肯定感を育み、ありのままの自分を認めることができるようになることで、相手の意見も尊重できる社会を目指したい。それぞれが思いやりの気持ちを持ち、お互いを慈しみ合えるような社会になるように、身近な子どもたちの良き手本に慣れるように日々関わっていきたい。
16	普通という範疇を除外できる社会であると良いと思います。
17	一人ひとりの個性を重視する社会を目指す事
18	・子供の自律・自律を見守る、社会全体の寛容な態度 ・子供にとってのあたたかい環境
19	・こどもたち一人一人、それぞれの 人格を尊重し 個性や特徴の理解を深め、柔軟に対応していく。 社会のルールを守って行動できるよう学べる環境作りをしてあげて社会へ出るための準備、社会的な役割を担うための可能性や視野を拡げることができるようなことや自立の手助けをすること。 子どもたちと決めていく、子どもたちと一緒によりよい場所にしていくことができる環境づくり。
20	学校教育の充実、家庭の教育力の向上、地域コミュニティの再構築が今後さらに重要だと思います。
21	自立することと思いやりの心をもって自他ともに尊重することができること
22	夢のある社会
23	障害の有無や環境によって差別をされないこと
24	子どもの人権が保障されること
25	子ども達が生きやすい社会を大人が作っていくこと。
26	子供は国の宝、基本は愛情。
27	・子どもは生まれたときから、人格を持ち、人権がある。環境に関係なく、幸せに育つ権利があると思う。子どもの最善の利益を第一に考え、子どもたちと関わっていきたい。 ・子ども一人ひとり違った生き方をしても良いという事、違うという事を認め合えるような社会を作っていく。
28	人への思いやりが少なくなっている
29	まさに子供の権利条約に書かれてある全てだと思います。

⑫その他行政等への提案について

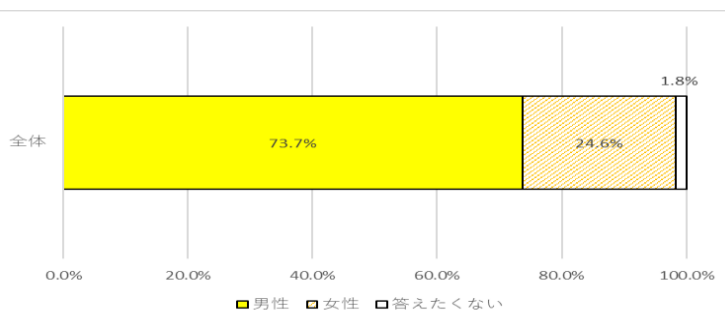
子どもに関わる人材育成や質の向上など、個別の取組に対する意見が寄せられました。

NO	意見（原文のまま）
1	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの子ども野育ちが守られるよう、子どもへかける制度の充実。保育料の無償化は進みましたが、0.1歳児の保育料や3歳以上の給食費の無償化も進めていただきたい。 卒園児未納者のお知らせが未だ、園に届いて参りますが未納者の回収徹底。 <p>よろしくお願い致します。</p>
2	<p>児童クラブは早朝から夕方まで（長期休暇等）保育している（の必要な）家庭、生活に余裕の持てない家庭等あります。</p> <p>ぜひ職員の研修機会を多くして質の向上も目指したいです。（1名ずつではなく、せめて3、4名参加したい）</p>
3	<p>児童クラブなど、なくてはならない所などがもっと支援員スキルなど考えるなかで今のままのパートにまるなげはよくないと思います。</p>
4	<p>子どもが生きやすい環境をつくるのが大切だと思いますが、今の時代、待機児童がいたり、認可保育園に入ることが難しかったり様々な問題の根底にあるのは、やはり保育士不足だと感じます。離職率が高いので、1つ1つの園が働きやすい環境をつくることで、保育士も潤い、子どもたちが生きやすい環境になるのかなぁと思います。</p>
5	<p>児童館や公民館の活用</p>
6	<p>地域とのつながりか大切なのではないかと感じるが、地域の行事に参加してもらうだけだと、必要な家庭に届かないことが多いのではないかと考えます。なので、学校の行事（ほぼ強制なので…）に地域の方を呼んで、パイプを作っていくのも1つの方法ではないかと思います。</p>
7	<p>インクルーシブ、ノーマライゼーションなどの理念は素晴らしいと思う。しかし、現状はそれに対応した施設、人員が足りていないように感じる。国の大きな目標に左右されるのではなく、その地域にあった細かな方針を立て地道に実践できる政策を実施してほしい。</p>
8	<p>教育や保育を受ける環境整備、社会教育、公園など社会インフラの整備と（ハード面とソフト面人的支援）の充実を可能な限り整備して行って欲しい</p>
9	<p>不登校への対応。（行政を巻き込んだ保護者への投げかけ）生活保護制度の充実。</p>
10	<p>保育士、幼・小・中教諭の専門的資質向上</p>
11	<p>子どもと関わる職種（保育士や教師など）の人材育成</p>
12	<p>「子どもの権利条約」を各条文のアイコンにした一覧のポスター（ユニセフが作成したもの）があるので、子どもの権利について考え、広めていけたらと思う。</p>
13	<p>子どもの育ちについて、理念を持ち健全に育ちについての応援をしていくコミュニティーができていくことが大切。そのために、方向性や方法・手段を示唆する行政のバックアップが必要である。</p>
14	<p>大きな意味で言えば、やはり国が豊かでなければいけないと思います。子供を取り巻く環境に余裕がなければ弱者の問題は後回しにされがちですので。</p>

3 第3章 調査結果（PTA会長用）

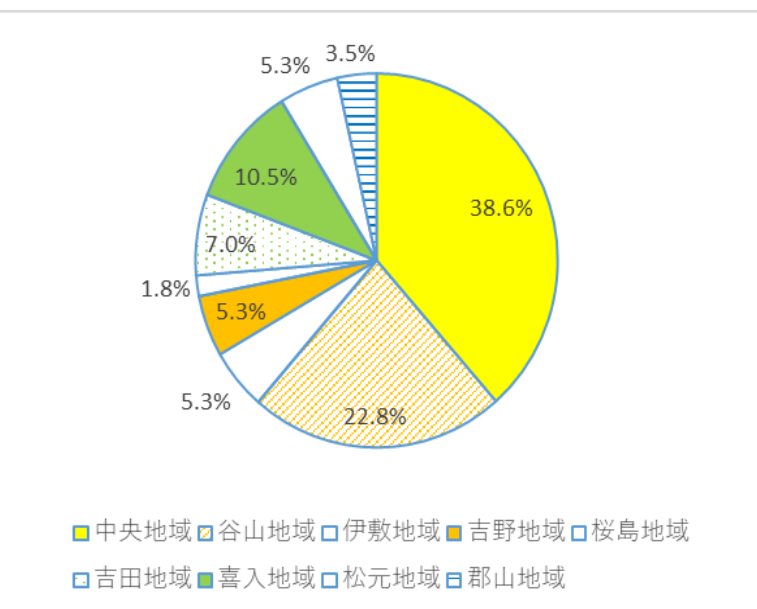
問1 性別を選択してください。

区分	人数	割合
男性	42	73.7%
女性	14	24.6%
答えたくない	1	1.8%
未回答	0	0.0%
合計	57	100.1%



問2 お住いの地域を選択してください。

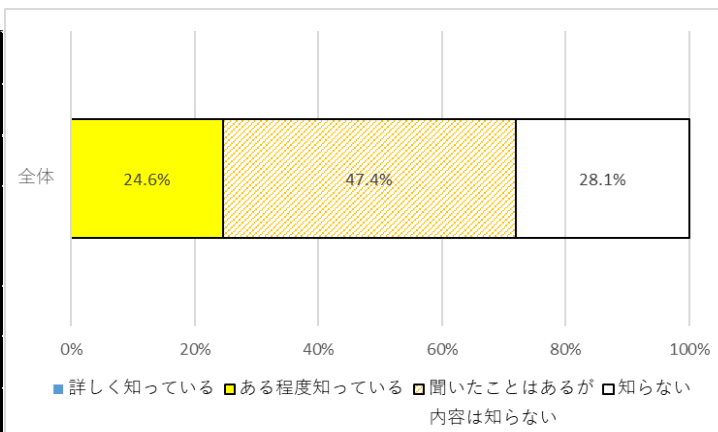
区分	人数	割合
中央地域	22	38.6%
谷山地域	13	22.8%
伊敷地域	3	5.3%
吉野地域	3	5.3%
桜島地域	1	1.8%
吉田地域	4	7.0%
喜入地域	6	10.5%
松元地域	3	5.3%
郡山地域	2	3.5%
未回答	0	0.0%
合計	57	100.1%



問3 あなたは、「子ども（児童）の権利に関する条約」（子どもの基本的人権を国際的に保障するために定められた条約です。1989年に国際連合で採択、日本は1994年に批准）を知っていますか。

全体では「聞いたことはあるが内容は知らない」が47.4%と最も高くなっています。

区分	人数	割合
詳しく知っている	0	0.0%
ある程度知っている	14	24.6%
聞いたことはあるが内容は知らない	27	47.4%
知らない	16	28.1%
未回答	0	0.0%
合計	57	100.1%

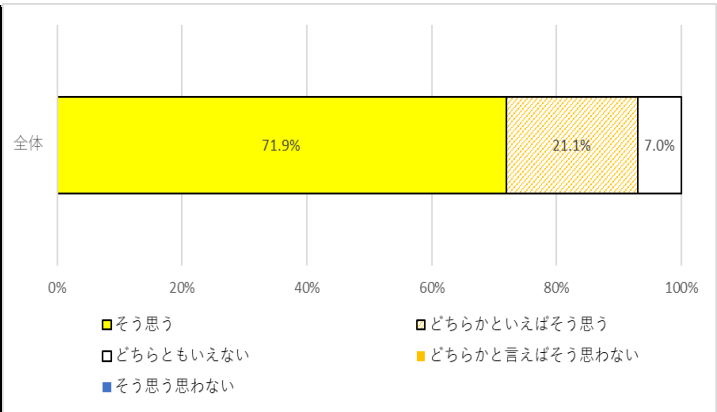


問4：あなたは、子どもの権利についてどのようなイメージをお持ちですか。

①子どもが人間らしく生きるのに必要なもの

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が93.0%となっています。

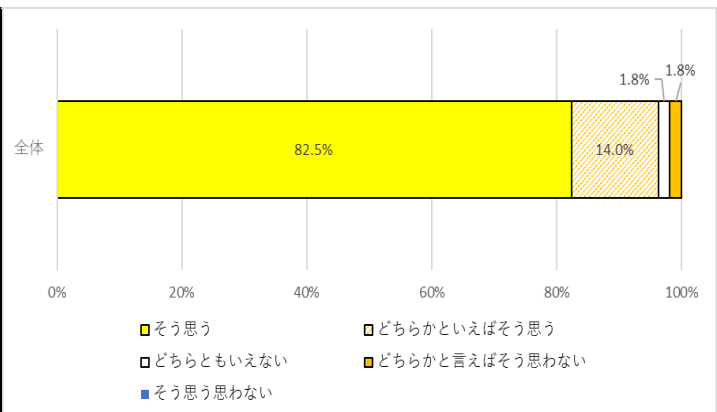
区分	人数	割合
そう思う	41	71.9%
どちらかといえばそう思う	12	21.1%
どちらともいえない	4	7.0%
どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
そう思わない	0	0.0%
未回答	0	0.0%
合計	57	100.0%



②子どもが健やかに成長するために保障されるべきもの

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が96.5%となっています。

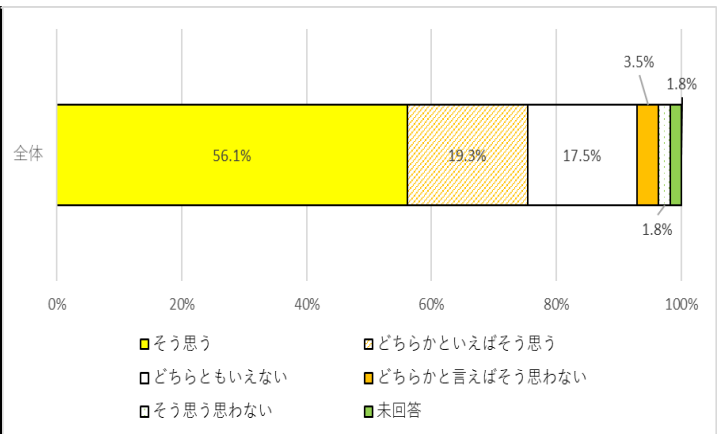
区分	人数	割合
そう思う	47	82.5%
どちらかといえばそう思う	8	14.0%
どちらともいえない	1	1.8%
どちらかと言えばそう思わない	1	1.8%
そう思わない	0	0.0%
未回答	0	0.0%
合計	57	100.1%



③大人と同じように当然認められるべきもの

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が75.4%となっています。

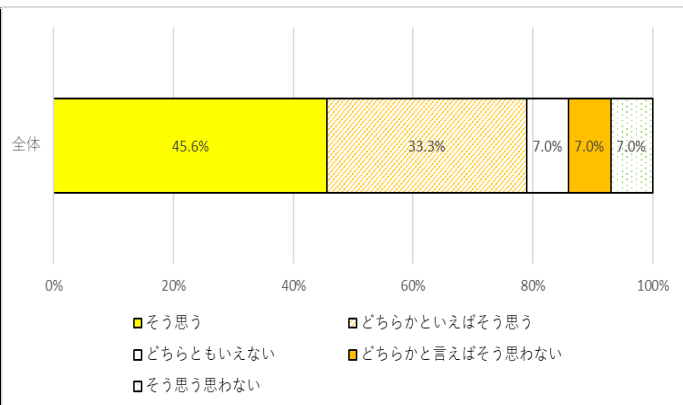
区分	人数	割合
そう思う	32	56.1%
どちらかといえばそう思う	11	19.3%
どちらともいえない	10	17.5%
どちらかと言えばそう思わない	2	3.5%
そう思わない	1	1.8%
未回答	1	1.8%
合計	57	100.0%



④大人と比べてある程度の制限は仕方ない

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」78.9%となっています。

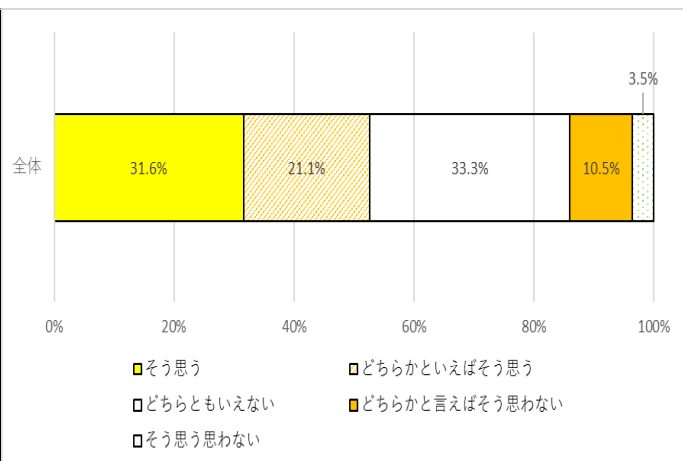
区分	人数	割合
そう思う	26	45.6%
どちらかといえばそう思う	19	33.3%
どちらともいえない	4	7.0%
どちらかと言えばそう思わない	4	7.0%
そう思わない	4	7.0%
未回答	0	0.0%
合計	57	99.9%



⑤権利は義務や責任を果たしてこそ認められるもの

「どちらともいえない」が33.3%と最も高くなっています。

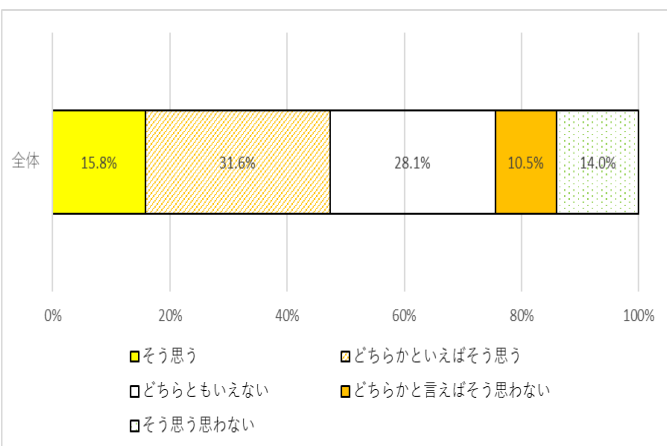
区分	人数	割合
そう思う	18	31.6%
どちらかといえばそう思う	12	21.1%
どちらともいえない	19	33.3%
どちらかと言えばそう思わない	6	10.5%
そう思わない	2	3.5%
未回答	0	0.0%
合計	57	100.0%



⑥権利ばかり尊重すると、子どもがわがままになる

「どちらかといえばそう思う」が31.6%と最も高くなっています。

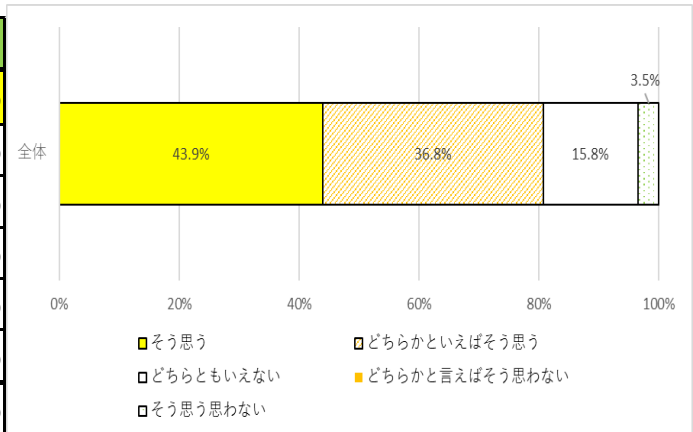
区分	人数	割合
そう思う	9	15.8%
どちらかといえばそう思う	18	31.6%
どちらともいえない	16	28.1%
どちらかと言えばそう思わない	6	10.5%
そう思わない	8	14.0%
未回答	0	0.0%
合計	57	100.0%



⑦自分の権利を大切にされることで、子どもは他人の権利も尊重できるようになる

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が80.7%となっています。

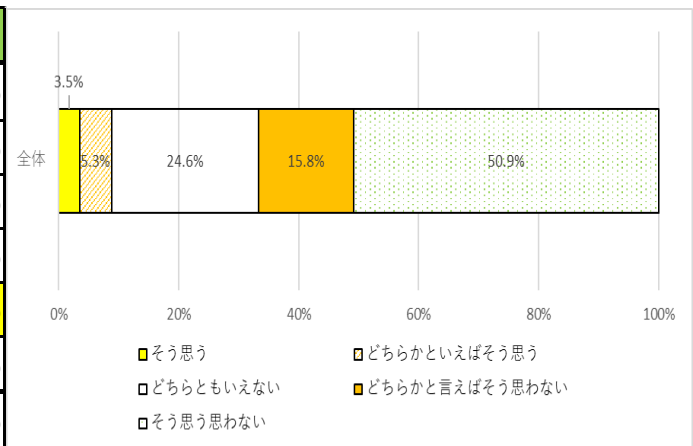
区分	人数	割合
そう思う	25	43.9%
どちらかといえばそう思う	21	36.8%
どちらともいえない	9	15.8%
どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
そう思う思わない	2	3.5%
未回答	0	0.0%
合計	57	100.0%



⑧大人にとって面倒なもの

全体では「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」が66.7%となっています。一方、少数意見ですが「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した方もいます。

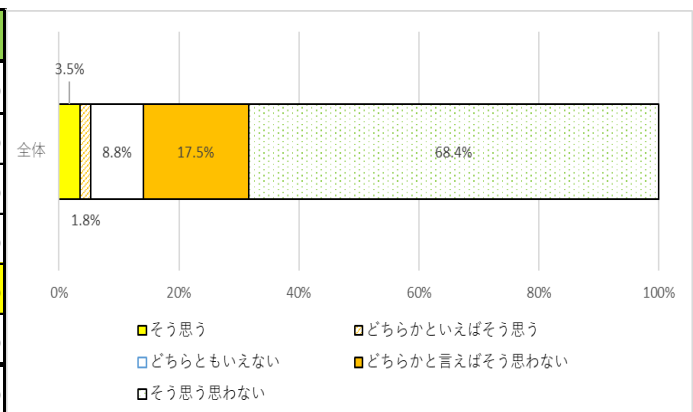
区分	人数	割合
そう思う	2	3.5%
どちらかといえばそう思う	3	5.3%
どちらともいえない	14	24.6%
どちらかと言えばそう思わない	9	15.8%
そう思わない	29	50.9%
未回答	0	0.0%
合計	57	100.1%



⑨子どもに権利は必要ない

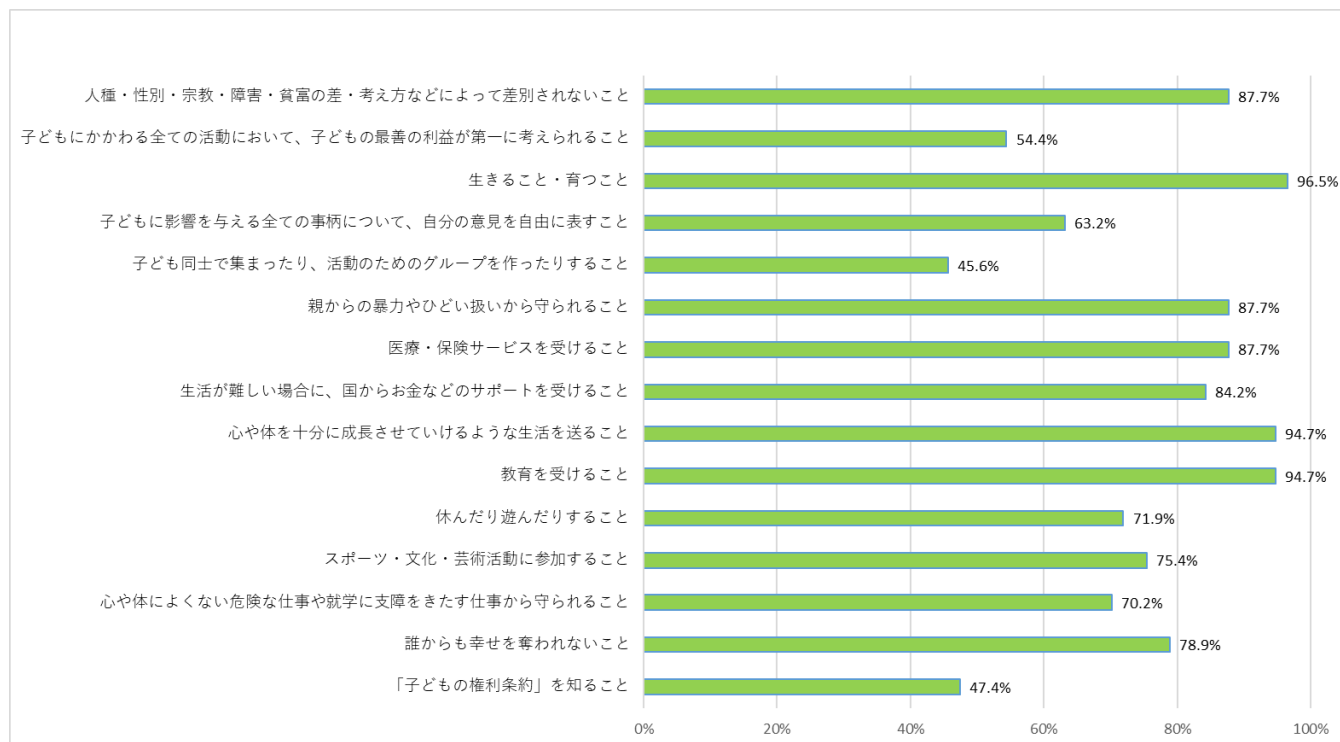
「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」が85.9%となっています。一方、少数意見ですが「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した方もいます。

区分	人数	割合
そう思う	2	3.5%
どちらかといえばそう思う	1	1.8%
どちらともいえない	5	8.8%
どちらかと言えばそう思わない	10	17.5%
そう思わない	39	68.4%
未回答	0	0.0%
合計	57	100.0%



問5：子ども（児童）の権利条約は以下のような子どもの権利を保障しています。あなたが大切だと思う子どもの権利を全て選んでください。

最も多いのは、「生きること・育つこと」で96.5%である一方、「子ども同士で集まったり、活動のためのグループを作ったりすること」を選択した人は45.6%と、権利の内容によって回答に差が出ている状況です。



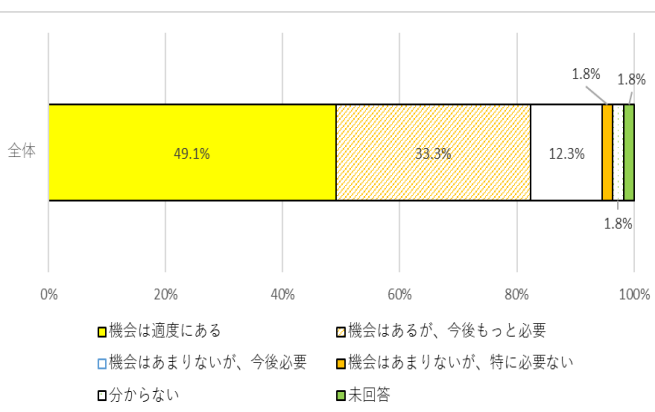
区分	人数	割合
人種・性別・宗教・障害・貧富の差・考え方などによって差別されないこと	50	87.7%
子どもにかかわる全ての活動において、子どもの最善の利益が第一に考えられること	31	54.4%
生きること・育つこと	55	96.5%
子どもに影響を与える全ての事柄について、自分の意見を自由に表すこと	36	63.2%
子ども同士で集まったり、活動のためのグループを作ったりすること	26	45.6%
親からの暴力やひどい扱いから守られること	50	87.7%
医療・保険サービスを受けること	50	87.7%
生活が難しい場合に、国からお金などのサポートを受けること	48	84.2%
心や体を十分に成長させていけるような生活を送ること	54	94.7%
教育を受けること	54	94.7%
休んだり遊んだりすること	41	71.9%
スポーツ・文化・芸術活動に参加すること	43	75.4%
心や体によくない危険な仕事や就学に支障をきたす仕事から守られること	40	70.2%
誰からも幸せを奪われないこと	45	78.9%
「子どもの権利条約」を知ること	27	47.4%
大切だと思う権利はない	0	0.0%
わからない	0	0.0%
合計	650	—

問6 子どもの権利条約は大きく4つの権利（①生きる権利②育つ権利③守られる権利④参加する権利）に分けられます。そのなかの④参加する権利に関して、子どもが自分の考えを言うことや様々な活動に参加する機会について、どのような状況だと思いますか。

①家庭で大事な物事やルールを決める時に意見を言うこと

「機会は適度にある」が49.1%と最も高くなっています。

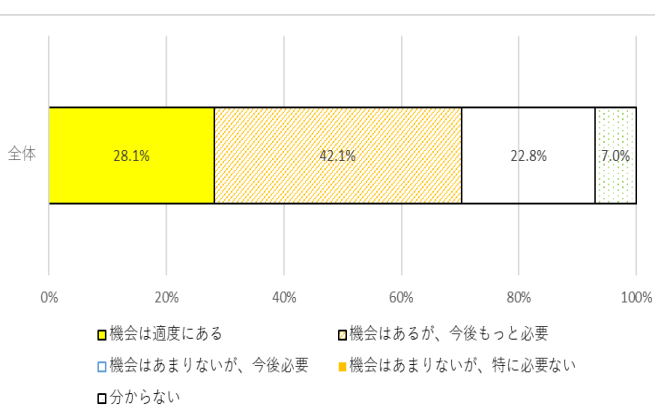
区分	人数	割合
機会は適度にある	28	49.1%
機会はあがる、今後もっと必要	19	33.3%
機会はあまりないが、今後必要	7	12.3%
機会はあまりないが、特に必要ない	1	1.8%
分からない	1	1.8%
未回答	1	1.8%
合計	57	100.1%



②学校行事・イベントの企画運営に参加すること

「機会はあがる、今後もっと必要」が42.1%と最も高くなっています。

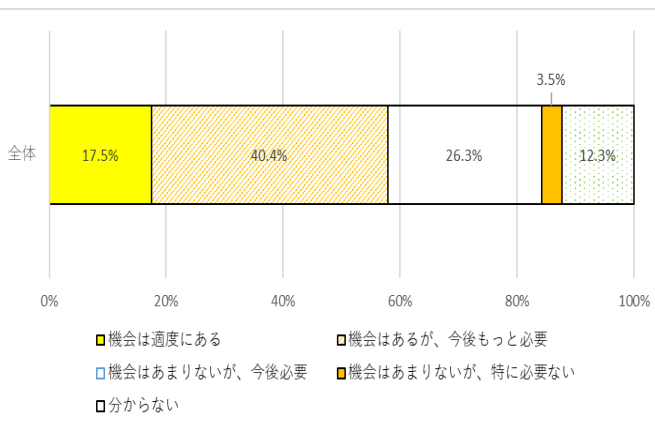
区分	人数	割合
機会は適度にある	16	28.1%
機会はあがる、今後もっと必要	24	42.1%
機会はあまりないが、今後必要	13	22.8%
機会はあまりないが、特に必要ない	0	0.0%
分からない	4	7.0%
未回答	0	0.0%
合計	57	100.0%



③学校等の部活動等の活動内容に意見を言うこと

「機会はあがる、今後もっと必要」が40.4%と最も高くなっています。

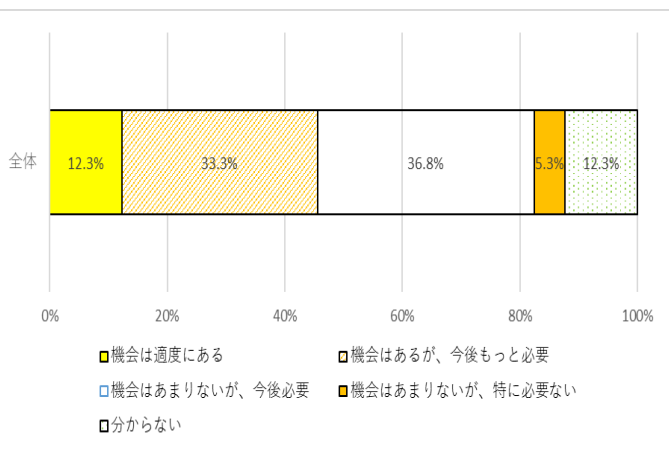
区分	人数	割合
機会は適度にある	10	17.5%
機会はあがる、今後もっと必要	23	40.4%
機会はあまりないが、今後必要	15	26.3%
機会はあまりないが、特に必要ない	2	3.5%
分からない	7	12.3%
未回答	0	0.0%
合計	57	100.0%



④学校の決まり事に意見を言うこと

「機会はありませんが、今後必要」が36.8%と最も高くなっています。

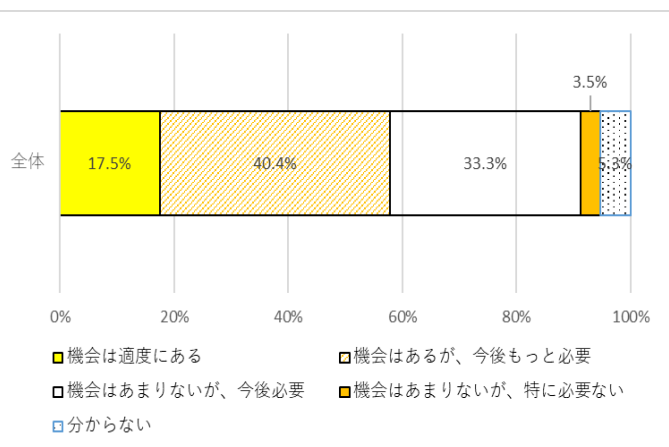
区分	人数	割合
機会は適度にある	7	12.3%
機会はあるが、今後もっと必要	19	33.3%
機会はありませんが、今後必要	21	36.8%
機会はありませんが、特に必要ない	3	5.3%
分からない	7	12.3%
未回答	0	0.0%
合計	57	100.0%



⑤地域の行事・イベントの企画・運営に参加すること

「機会はあるが、今後もっと必要」が40.4%と最も高くなっています。

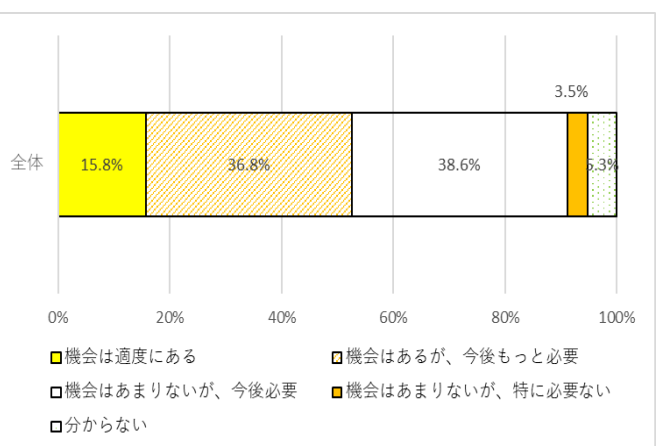
区分	人数	割合
機会は適度にある	10	17.5%
機会はあるが、今後もっと必要	23	40.4%
機会はありませんが、今後必要	19	33.3%
機会はありませんが、特に必要ない	2	3.5%
分からない	3	5.3%
未回答	0	0.0%
合計	57	100.0%



⑥地域のまちづくりやボランティア活動に参加すること

「機会はありませんが、今後必要」が38.6%と最も高くなっています。

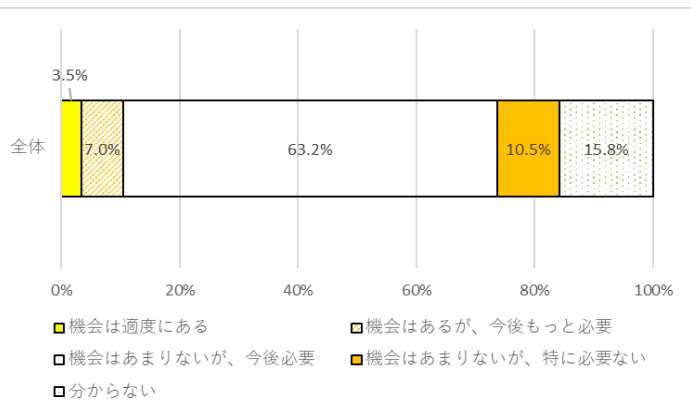
区分	人数	割合
機会は適度にある	9	15.8%
機会はあるが、今後もっと必要	21	36.8%
機会はありませんが、今後必要	22	38.6%
機会はありませんが、特に必要ない	2	3.5%
分からない	3	5.3%
未回答	0	0.0%
合計	57	100.0%



⑦鹿児島市政について意見を言うこと

「機会はありませんが、今後必要」が63.2%と最も高くなっています。

区分	人数	割合
機会は適度にある	2	3.5%
機会はあるが、今後もっと必要	4	7.0%
機会はありませんが、今後必要	36	63.2%
機会はありませんが、特に必要ない	6	10.5%
分からない	9	15.8%
未回答	0	0.0%
合計	57	100.0%



問7 子どもが安心して自分らしく生き、地域の中で社会参加しながら成長していくには、どのようなことが大切だと思いますか。意見があれば教えてください。

大きく5つの視点で、意見が寄せられました。

①子どもの社会参加・意見表明に関すること

NO	意見（原文のまま）
1	子供たちが意見を述べられる場所や機会をもっと増やすこと。 それらの意見に、大人が耳を傾けて、寄り添うこと。
2	あいご会の活動の中で、子どもを中心とした行事の運営なども積極的に考えていき、子どもの自主性を育み、保護者はサポート役に徹する場面を増やしていく事も大切だと思う。
3	自ら意見などを述べることで、参加しているという実感を感じてほしい。
4	地域との関わりが、親の都合で非常に少なくなっている。 子供自身の意思で、ある程度の社会参加できる機会が増えることを望む。
5	・子供達が参加しやすい各分野の対応作り

②地域との連携に関すること

NO	意見（原文のまま）
1	地域と連携した取り組みを増やし、子どもの価値観を尊重したり、見守ってくれる存在を増やす事で豊かな人間形成ができると思う。
2	家庭・学校・地域でのコミュニティでそれぞれが連携をしていく事
3	親や友達、先生や地域の方との繋がり。

③保護者・大人全般に関すること

NO	意見（原文のまま）
1	権利、権利とよく言われるが、その権利についての内容をよくわからずに主張されているように思います。大人がもっと身近で子供に寄り添って教育していけたらと思います。
2	保護者としての資質向上
3	まず 20 代 30 代の保護者を教育しなおすべきであり、いま社会で子どもたちを育てていくことを拒絶しているのはこの人たちである。子どもの虐待が多くなり、行政の後手の対応で被害を被っているのは子どもたち。行政はどうしたら子供たちが社会参加できるのかをまず考えてほしい。条例を制定しても親が今のままでは効果なし。
4	子供の社会参加は必要だと思うが親同士のつながりが希薄で、つなぎ役が出来づらい。どうしていいのかもよくわからない。社会全体で子育てをしていく意識の変革が必要だと思う。「子は社会の担い手、子は宝」
5	子供の前に親が勉強するべき。蛙の子は蛙。滅多なことで鳶が鷹を産むことはない。
6	大人が子どもに対して遠慮なく指導・話しなど出来る機会。子どもに対し、態度・言葉を選びながらの接し方だと、大人も疲れ、本当が伝わらない。
7	地域住民の子どもたちに対する(教育、育てる)意識

④家庭の抱える課題への対応

NO	意見（原文のまま）
1	・ネグレクトへの対応
2	親などが貧困の状態にある家庭で育つ 18 歳未満の子の割合をしめす日本の貧困率は 13.5%。その中でひとり親世帯は 48.1%。まずは、子どもの貧困問題をキチンと解決することが急務です。生活が安定していることが大事だと思います。

⑤子どもに対する取組

NO	意見（原文のまま）
1	社会の仕組みを学ぶことが大切。自分たちの生活を支える人々への感謝をすること 税の仕組みとその役割を知ること
2	学校の他にも、地域の行事などにも参加できる環境を整備すること。
3	地域活動をはじめ、学校や家庭以外とのつながりが、何よりも大切だと思う。自分らしくを自覚できる年齢も考慮しながら、地域にお世話になる事を当たり前と感じながら、その環境に感謝するという子ども達を我々が育てるべきであり、われわれがそういう環境を意識して作る必要がある。